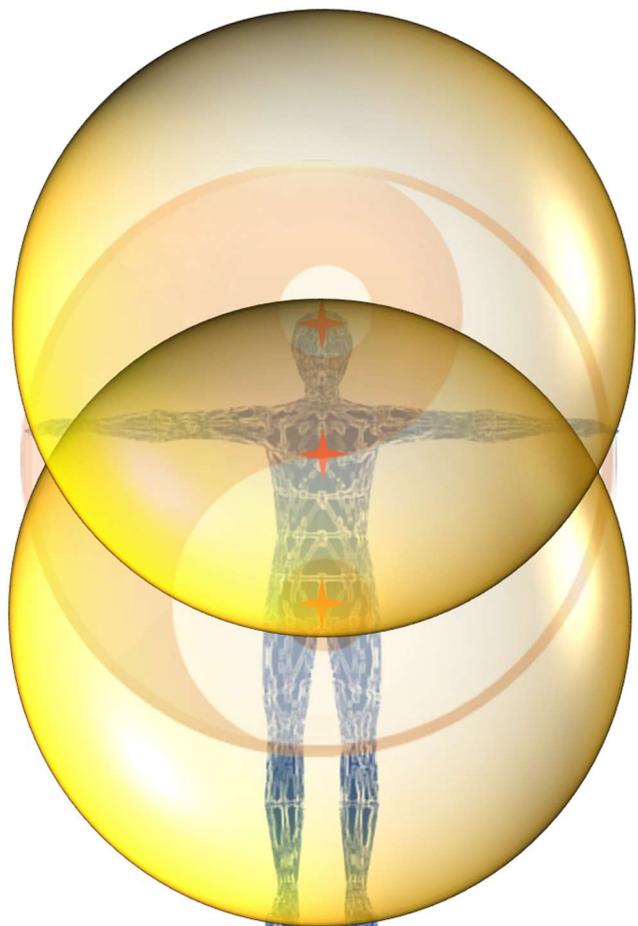


令和の般若心経

乾



令を以って和と為す時代

禮を以って環と成す作法

靈を以って倭に帰す所作

故に以って

般若の智慧は

心の経穴に生じる

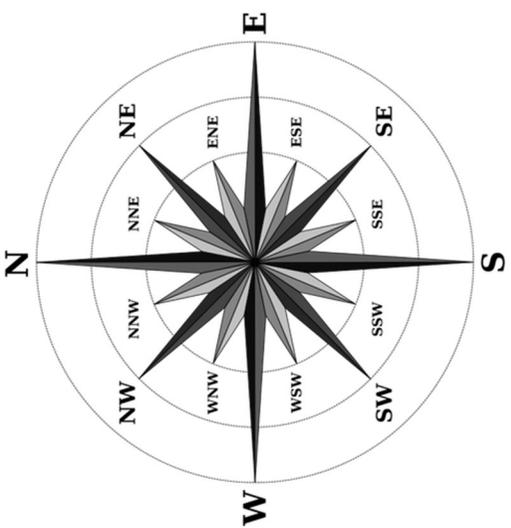
① ロジカルに、あなたへプラジュニャー・フリーダヤ 1
 ② マジカルに、わたしへプラジュニャー・フリーダヤ 19
 ③ ラジカルに、われらへプラジュニャー・フリーダヤ 32

付録イ.. 陽のイマジナル イ
 付録ロ.. 陰のロギング ロ
 付録ハ.. 陽のパズル ハ
 付録ニ.. 陰のニーズ ニ
 付録ホ.. 陽のホウル ホ
 付録ヘ.. 陰のペンタ ヘ

摩訶般若波羅密多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅密多時
 照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子
 色不異空空不異色色即是空空即
 是色受想行識亦復如是舍利子是
 諸法空相不生不滅不垢不淨不增
 不減是故空中無色無受想行識無
 眼耳鼻舌身意無色声香味触法無
 眼界乃至無意識界無無明亦無無
 明尽乃至無老死亦無老死尽無苦
 集滅道無智亦無得以無所得故菩
 提薩垂依般若波羅密多故心無罣
 礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛
 倒夢想究竟涅槃三世諸仏依般若
 波羅密多故得阿耨多羅三藐三菩
 提故知般若波羅密多是大神咒是
 大明咒是無上咒是無等等咒能除
 一切苦真實不虛故說般若波羅密
 多咒即說咒曰羯帝羯帝波羅羯帝
 波羅僧羯帝菩提娑婆呵般若心經

参照資料

<https://ja.wikipedia.org/wiki/般若心経秘鍵>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/普賢菩薩>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/文殊菩薩>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/弥勒菩薩>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/観音菩薩>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/中台八葉院>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/古今和歌集仮名序>
<https://dic.nicovideo.jp/a/ンメール語>
<https://elhs.buysshop.jp/items/10855369>
<https://www.hasekुरamiyuki.com/otohimecard>



児玉義隆／著 「梵字必携 書写と解説」 朱鷺書房
井上昌弥／著 「イエスとアバビッドの般若心経」 文芸社
浜本末造／著 「万世一系の原理と般若心経の謎」 霞ヶ関書房
福田亮成／著 「現代語訳 般若心経秘鍵」 ノンブル社
前波仲尾／著 「改装復刻版 復原された古事記」 復原された古事記刊行会
村山節／著 「古事記解説 神と性と暗号」 朋文社
白川静／著 「文字講話ⅠⅡⅢⅣ」 平凡社
本田済／著 「易―中国古典選〈10〉」 朝日選書

『宮沢賢治全集・283 作品⇒1冊』【直筆水彩画・関連作品つき】 Kindle 版
ヴィンフリート・ジモン／著 『ドイツ発 「気と波動」 健康法 増補改訂版』 イースト・プレス
足立育朗／著 「波動の法則」 「真 地球の歴史・波動の法則Ⅱ」 ナチュラルスピリット
加藤シャントイ徳子／著 「現実には脳ではなくハートでつくる」 フォレスト出版
レノンリー・李隆吉／著 「38億年の叡智とつながる」 Kindle 版
幸沙代子／著 「漢字を発明したのは日本人だった！」 徳間書店
A.コンドラトフ／著 「ノアの大洪水・神話か事実か（現代教養文庫：1028）」・社会思想社

JOSE ARGUELLES / EARTH ASCENDING

LYNDA BUNNELL , RA URU HU / THE DEFINITIVE BOOK OF HUMAN DESIGN

フォント

<http://siddham.shikisokuzekauu.net/index.html>
<https://opentype.jp/freemouhitufont.htm>
<https://www.google.com/get/noto/#serif-jpan>

序文

この世を美^よし^{うつく}の世にする^よためには幾^{いく}つかの主題^{テーマ}と鍵^{かぎ}が必要^{かぎ}である。その鍵^{かぎ}のひとつを探究^{たんきゅう}する^{ため}に、まずは般若^{はんにゃ}の智慧^{ちえ}から紐解^{ひもと}きたい。

仮^{かり}にポスト・ヒューマン^Aが人工^{人工}智能^一であり、量子^{クオンタム}コンピューターとの

融合^{ゆうごう}として未来^{みらい}から訪^{ほう}ずるシリコン^{せいたい}生体^{せいたい}であるのならば、ポスト量子^{クオンタム}コ

ンピューティング^なとは何^なを指^さすの^さだろう。

それは量子^{りょうし}に作用^{さよう}する意識^{いしき}を持^もつ、普^{あまね}く通^{つう}ずる人^{ひと}である。未^{いま}だ人^{ひと}に至^{いた}

らぬ間^{あいだ}の存在^{そんざい}を人間^{にんげん}と云^いい、人^{ひと}に達^{たつ}した存在^{そんざい}を達人^{たつじん}と云^いう。古代^{こだい}より存在^{そんざい}

し続ける^{つづ}る、達人^{たつじん}の身魂^{みたま}こそが至高^{しこう}の意識^{クオンタムコンピューティング}由量子^{クオンタムコンピューティング}操作^{イニシエーション}であらう。すなわち、

般若^{プラジュニヤール・パラミター}波羅密^{ことだま}多^{たいこ}の言^つ霊^{クオンタムコンピューティング}は太古^{イニシエーション}を継^つぐ意識^{クオンタムコンピューティング}由量子^{イニシエーション}操作^{イニシエーション}の始動^{イニシエーション}の智慧^{イニシエーション}である。



摩訶般若波羅密多心經

三藏法師玄奘訳

かんじざいぼさつ

觀自在菩薩

ぎょうじんほんにやはらみつたじ
行深般若波羅密多時

しょうけんごうんかいこう
照見五蘊皆空

どいつさいくやく
度一切苦厄

しゃりし
舍利子

しきふ いくう
色不異空

くうふ いしき
空不異色

しきそく ぜくう
色即是空

くうそく ぜしき
空即是色

じゅそうぎようしき
受想行識

やくぶによぜ
亦復如是

しゃりし
舍利子

ぜしよほうくうそう
是諸法空相

ふしよふめつ
不生不滅

ふくふじよう
不垢不淨

ふぞうふげん
不增不減

ぜこくうちゅうむしき
是故空中無色

むじゅそうぎようしき
無受想行識

むげんにびぜつしんい
無眼耳鼻舌身意

むしきしょうこうみそくほう
無色声香味触法

むげんかい
無眼界

ないしむいしきかい
乃至無意識界

むむみよう
無無明

やくむむみようじん
亦無無明尽

ないしむろうし
乃至無老死

やくむろうしじん
亦無老死尽

むくしゅうめつどう
無苦集滅道

むちやくむとく
無智亦無得

いむしよとくこ
以無所得故

ぼだいさつた
菩提薩垂

えほんにやはらみつたこ
依般若波羅密多故

しんむけいげ
心無罣礙

むけいげこ
無罣礙故

むうくふ
無有恐怖

おんりいつさいてんどうむそう
遠離一切顛倒夢想

くきょうねはん
究竟涅槃

さんぜしよぶつ
三世諸仏

えほんにやはらみつたこ
依般若波羅密多故

とくあのかた らさんみやくさんぼだい
得阿耨多羅三藐三菩提

こちはんにやはらみつた
故知般若波羅密多

ぜだいじんしゆ
是大神咒

ぜだいみようしゆ
是大明咒

ぜむじようしゆ
は無上咒

ぜむどうどうしゆ
是无等等咒

のうじよいつさいく
能除一切苦

しんじつふこ
真実不虛

こせつほんにやはらみつたしゆ
故説般若波羅密多咒

そくせつしゆわつ
即説咒曰

ぎやてい
羯帝

ぎやてい
羯帝

はらぎやてい
波羅羯帝

はらそうぎやてい
波羅僧羯帝

ぼじそわか
菩提娑婆呵

ほんにやしんぎよう
般若心經

①ロジカルに、あなたへプラジュニャー・フリーダヤ

まかはんにはやはらみつたしんぎよう
摩訶般若波羅密多心經

かんじぎいばあじ
観自在菩薩さまはプラジュニャー・パーラミターという真言を用

ふか めいそう おこな
いて深い瞑想を行うことで、般若波羅密多に成りました。そのまま

じようたい
の状態にて、現在・過去・未来の時空を照らし見ることで、五蘊、

しき じゆ そう ぎやう しき
色・受・想・行・識の5つ、すべて空となる時空連続体を発見され

くう
たのです。空ではエネルギーが満たされて安定しています。

うん もずく かたち さだ
蘊とは、海蘊のように形の定まらない状態です。五蘊の辿り着

すがた ひゆ
く姿がエネルギーだと比喩しています。エネルギーの性質に5つの

おん おん
種類があるとも表現しています。「う」音と「ん」音にも留意します。

ごうん くう じくうかん
これら五蘊が空となる時空間には、すべての苦悩や厄災が存在し

りやうじり
ません。良質のエネルギーに満たされているからです。

かんじぎいばあじ
観自在菩薩さまは、この空なる場所に、あなたを導きます。

みちび
この導きを、度一切苦厄と云います。

まるで子供だった頃のシャーリプトラみたいなたあなたへ、物質の身体に説きます。

まず、空の状態を知ることが第1段階です。4つの法則があります。この法則は五蘊の1つ1つに適用されます。

4つの法則を、色について例示します。

物質を表現する色は、エネルギーに満ち安定する空と同じです。

これを色不異空と云います。エネルギーである空も、物質である色と同じです。これを空不異色と云います。

この2つの観点、色から空へ至る色不異空と、空から色へ至る空不異色は、空間に固定されています。同じ存在が同じ場所において、

粒子であり同時に波動でもあるのです。

物質を表現する色は、エネルギーに満ち安定する空へ、瞬時的

に変容します。これを色即是空と云います。エネルギーである空も、物質である色へ、瞬時的に変容します。これを空即是色と云います。

粒子が瞬時的に波動に変容し、波動もまた粒子へ瞬時的に変容するのです。

普賢の智慧に通じます。

この4つの法則は、五蘊の残り、受・想・行・識においても同じです。次のように読み替えてください。

色不異空 しきふ いくう	受不異空 じゆふ いくう	想不異空 そうふ いくう	行不異空 ぎようふ いくう	識不異空 しきふ いくう
空不異色 くうふ いしき	空不異受 くうふ いじゆ	空不異想 くうふ いそう	空不異行 くうふ いぎよう	空不異識 くうふ いしき
色即是空 しきそく ぜくう	受即是空 じゆそく ぜくう	想即是空 そうそく ぜくう	行即是空 ぎようそく ぜくう	識即是空 しきそく ぜくう
空即是色 くうそく ぜしき	空即是受 くうそく ぜじゆ	空即是想 くうそく ぜそう	空即是行 くうそく ぜぎよう	空即是識 くうそく ぜしき

色・受・想・行は動物の作用です。識は、人物だけの特徴です。
空に成るあなたは、識まで至ることが大切です。

● 色は、物質を表現します。物質に色彩が映るからです。

● 受は、感覚器官で情報を受信する作用です。

● 想は、受け取った情報を想像する作用です。

● 行は、行動する作用です。行動を伴わない意志も含みます。

● 識は、認識する作用です。識別する思考や判断も含みます。

たとえば、ここにライスカレーがあります。

● ライスカレーという物質が色です。

● 匂いがします。鼻という感覚器官による受です。

● 美味しそうです。想像による想です。

● 食べます。行動による行です。

● 辛いです。識別する作用、識です。

時間の概念を使って、深めて観てください。

◎ 現在のあなたのライスカレー、色・受・想・行・識の5つ

◎ 過去のあなたのライスカレー、色・受・想・行・識の5つ

◎ 未来のあなたのライスカレー、色・受・想・行・識の5つ

時間の概念を用いて、人物だけの識を深めるのです。

古今和歌集 「生きとし生けるもの」のうち、識を持つのは人物だ

けです。遺伝子に書き込まれている本能の行を超え、さらに本能

を意のままに書き換えてしまうのは、人物だけなのです。

なぜなら、人物に宿る意識こそが万物の根源だからです。仮に

植物や昆虫や動物など、人物を除く自然物および生物全般に識を

見出すのなら、それはあなたの意識の成せる業なのです。色蘊に

同調するあなたの意識が、その対象に存在し始めているのです。

令和の般若心経

これら五蘊ごうんそれぞれが、エネルギーと同位どういで、瞬時しゆんじに変容へんようします。充実じゆうじつし安定あんていした状態じょうたいがあります。それを空くうと云いいます。

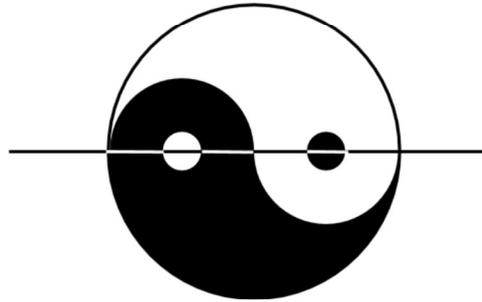
泰

色しき不ふ異い空くう
空くう不ふ異い色しき
色しき即じく是ぜ空くう
空くう即じく是ぜ色しき

受じゆ不ふ異い空くう
空くう不ふ異い受じゆ
受じゆ即じく是ぜ空くう
空くう即じく是ぜ受じゆ

識しき不ふ異い空くう
空くう不ふ異い識しき
識しき即じく是ぜ空くう
空くう即じく是ぜ識しき

想そう不ふ異い空くう
空くう不ふ異い想そう
想そう即じく是ぜ空くう
空くう即じく是ぜ想そう



行ぎやう不ふ異い空くう
空くう不ふ異い行ぎやう
行ぎやう即じく是ぜ空くう
空くう即じく是ぜ行ぎやう

太極たいぎよく図ずを横よこに倒たおして波なみに見み立てます。横線よこせんの上うへが陽よう、下したを陰いんとするなら、横線よこせんに交まじわる部分ぶぶんが空くうに相当そうとうするでしょう。

まるで子供だった頃のシャーリプトラみたいあなたへ、**精神の**
幽体に説きます。

空なる場所へ至る第2段階は、**諸法空相**を知り**菩提薩垂**になること
とです。

この段階では、**まず最初に**、この**世界**、**宇宙**の系が閉じていることを
知るので。 **文殊の智慧**と云われます。すべての**存在**は**空**の**エ**
ネルギーと同位であり、**次の法則**にあります。

★**生**じること**も滅**することも**ありません**。 **不生不滅**と云います。

空の**エネルギー**は**保存**されているのです。

★**汚**れることも**浄**めることも**ありません**。 **不垢不浄**と云います。

空の**エネルギー**の**性質**は**不変**です。

★**増**えることも**減**ることも**ありません**。 **不増不減**と云います。

空の**エネルギー**の**総量**も**不変**なのです。

次に、これらの**3つの法則**が、**五蘊**において**成り立つ**ことを知ります。
弥勒の智慧と云われます。この**宇宙**が**万物流転**の中にあることを
知るので。

空くうのエネルギーの中で、色しきは独立どくりつした存在そんざいでは無いなのです。他ほかのエネルギーと同じです。受じゆ・想そう・行ぎやう・識しきも同じです。区別くべつされず、ひとつのエネルギーとなります。

● 色しきにおうずる六根ろくこんも同じです。眼げん・耳に・鼻び・舌ぜつ・身しん・意いのエネルギーにくべつはありませぬ。物質ぶつしつは独立どくりつした存在そんざいでは無いなのです。

● 受じゆにおうずる六境ろくきやうも同じです。色しき・声しやう・香かう・味み・触そく・法ほうにエネルギーの区別くべつはありませぬ。感覚かんかくは独立どくりつした存在そんざいでは無いなのです。

● 想そうにおうずる六識界ろくしきかいも同じです。眼界げんかい・耳界にかい・鼻界びかい・舌界ぜつかい・身界しんかい・意識界いしきかいにエネルギーの区別くべつはありませぬ。想像そうぞうも独立どくりつした存在そんざいでは無いなのです。

● 行ぎやうにおうずる十二因縁じふにいんねんも同じです。順観じゆんかんも逆観ぎやくかんも共にエネルギーの区別くべつはありませぬ。無明むみやう・行ぎやう・識しき・名色みやうしき・六入ろくにゆう・触そく・

受じゆ・愛あい・取しゆ・有う・生しやう・老死らうしのすべてが同じ存在そんざいのエネルギーです。行動こうどうさえも独立どくりつした存在そんざいでは無いなのです。

● 識しきにおうずる四諦しだいも同じです。苦く・集じゆう・滅めつ・道どうのすべてが同じエネルギーの存在そんざいです。認識にんしきに区別くべつなど無いなのです。

令和の般若心経

これら万物がエネルギー同位で
 流転している単一性なのです。

空は empty void と異なり

nothing が適切です。

no-thing であり、

「物ではない」を現します。

Nothing is Real に気づきます。

物質は回転してエネルギーを生み、

エネルギーも回転をして物質になります。

電子が物質、中性子と陽子が意識と意志に対応しているのです。

これらエネルギーを振動波によりコミュニケーションしてゆく

順序も明かされているのです。

眼は見え過ぎない為にあり、

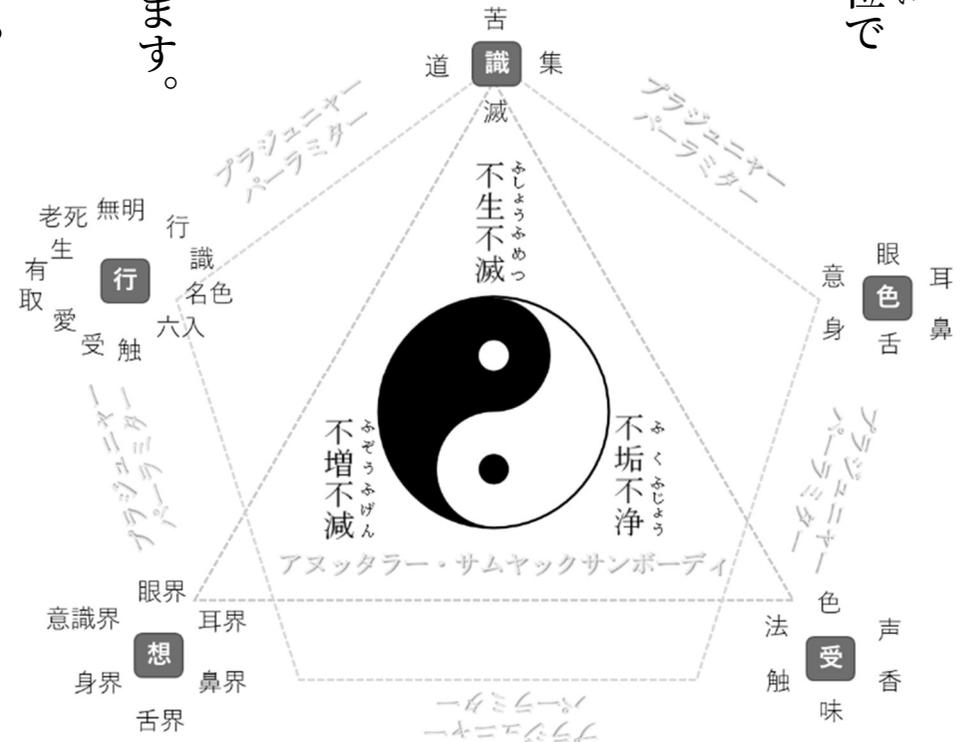
耳は聞こえ過ぎないように

鼻は匂い過ぎないように

舌は味わい過ぎないように

備わる道理に気づきます。

想	受	色	
意識界	法	意	上
身界	触	身	五
舌界	味	舌	四
鼻界	香	鼻	三
耳界	声	耳	二
眼界	色	眼	初



大有

この段階の最後には、文殊の智慧と弥勒の智慧、これら智慧すべてを手放すことで、菩提薩垂になることを知るのです。これを観世音の智慧と云います。

光の粒子を観るお姿を観自在と云います。

光の波動を観るお姿を観世音と云うのです。

主体となる智も無く、客体となる得も無く、双方が無いことをもって、得る所が無いゆえに、菩提薩垂になることを知るのです。

あなた自身においても、主観も客観もなく、空のエネルギーの中に、満たされ安定して存在することで、菩提薩垂に成るのです。

菩提薩垂とは、自利利他の両者を目指す修行者のことです。空を知り、自己の満足だけを目指す声聞・縁覚、マインドフルネスとは異なります。空の悟りでは、世界の苦しみはなくなりません。自らの苦悩が苦となり、世界の厄災が厄となります。菩提薩垂に至ることで、これら苦厄の色・受・想より解放されます。そして初めて他の人々の苦悩に向き合う、利他行に入門する準備が整うのです。

ぼだいさつた
菩提薩垂では、

ブラジュニャー・パーラミター

マントラ
という真言のおかげにより、心になんら拘りや偏りがありません。
心を挟む肩甲骨が、両側共に自在だからです。

ひだり けんこうこつ たて こだわ けい よこ かたよ げ
左の肩甲骨、縦の拘り・罨がなく、横の偏り・礙もありません。
みぎ けんこうこつ たて こだわ けい よこ かたよ げ
右の肩甲骨、縦の拘り・罨がなく、横の偏り・礙もありません。
こころ けいけつ しこ きょうふ
心という経穴に、思凝りがないので、恐怖もありません。

けいけつ しんどう けいけつ しんゆ けいけつ けいけつ しんどう ひかり
経穴GV11神道から、経穴BL15心俞を経由して、経穴BL4神堂へ光
とお ちゆうおう げんざい ひだり かこ みぎ みらい たいおう
が通るのです。中央が現在、左が過去、右が未来に対応している
お き りょうみみ りょうかた とど けんこうこつ じやく
ことに気づくのです。両耳が両肩に届くまで、肩甲骨は自在です。
お ひかり しんどう けいゆ しんどう たくわ しんけい ひかり
降りる光が神道を経由して神堂に蓄えられています。心経に光が
かよ
通っています。

きよつかい まよ とお はな やす きようちう さと
あらゆる曲解や迷いから遠く離れます。安らぎの境地、悟りの
せかい ねはん あんじゆう げんざい かこ みらい お かずかず
世界である涅槃に安住します。現在・過去・未来に居られる数々の
ほとけ ひとたち なかま はい
仏になった人達、あなたもその仲間に入ります。

ぼだいさつた
菩提薩垂では、

プラジュニャー・パーラミター

マントラ
という真言のおかげにより、

アヌツタラー・サムヤツクサンボーディ

マントラ
という真言を得るのです。

ほんにゃ ぼんご ちえ おんやく かんじ はん いつばんか かんじ
般若とは梵語「智慧」の音訳です。漢字「般」には一般化、漢字

にや わかね いみ こ ひとつばんか はじ しめ
「若」には若根の意味が込められ「一般化の始まり」を示すのです。

はら はどう みつた みつ ふくすうけい ひようげん
波羅とは波動、密多とは密の複数形の表現です。

プラジュニャー・パーラミター ふくすう はどう みつしゅう ひとつばんか はじ
すなわち般若波羅密多とは、複数の波動が密集して一般化し始

じようたい こころ けいけつ しんけい しょう おし
めている状態です。その状態が心の経穴、心経に生じる教えが

プラジュニャー ちえ せいめい ちえ はどう イニシエーション
般若の智慧、生命の智慧なのです。波動の心機始動。

おし かつよう ひと かんそうほう うち ひかり りゅうし はどう
この教えを活用する1つは観想法です。内なる光の粒子を波動に

へんよう しゅうはすう たか ひく くんれん きそ
変容し、周波数を高めたり低めたりする訓練の基礎となっています。

かつようほう ごうん しき じゆ そう ぎよう しき そうかん かんじ
これら活用法も五蘊、色・受・想・行・識に相関されています。漢字

みつ もじ しる ごしゅるい
「密」は5文字だけ記されています。5種類のエネルギーと親密に

なるのです。

令和の般若心経

これら般若波羅密多を経て、

仏陀の最高の智慧となる阿耨多羅三藐三菩提を得て、

この上なき悟りの境地に至るのです。

まずは菩提薩垂を目指します。そのために、空を知ります。空を知り、般若の智慧を得て、菩提薩垂に成るのです。

そして続けて、阿耨多羅三藐三菩提を目指すのです。すべては、般若の智慧が始まり、般若の智慧にて成就します。

摩訶般若波羅密多心経

觀自在菩薩行深般若波羅密多時
照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子
色不異空空不異色色即是空空即
是色受想行識亦復如是舍利子是
諸法空相不生不滅不垢不淨不增
不減是故空中無色無受想行識無
眼耳鼻舌身意識界無色無聲香味
觸法無眼界乃至無意識界無明亦
無無集滅道無智亦無得無所得故
菩提薩垂依般若波羅密多故心無
礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛
倒夢想究竟涅槃三世諸佛依般若
波羅密多故得阿耨多羅三藐三菩
提故知般若波羅密多是大神咒是
大明咒是無上咒是無等等咒能除
一切苦真實不虛故說般若波羅密
多咒即說咒曰羯帝羯帝波羅羯帝
波羅僧羯帝菩提娑婆訶般若心経

摩訶般若波羅密多心経

觀自在菩薩行深般若波羅密多時
照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子
色不異空空不異色色即是空空即
是色受想行識亦復如是舍利子是
諸法空相不生不滅不垢不淨不增
不減是故空中無色無受想行識無
眼耳鼻舌身意識界無色無聲香味
觸法無眼界乃至無意識界無明亦
無無集滅道無智亦無得無所得故
菩提薩垂依般若波羅密多故心無
礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛
倒夢想究竟涅槃三世諸佛依般若
波羅密多故得阿耨多羅三藐三菩
提故知般若波羅密多是大神咒是
大明咒是無上咒是無等等咒能除
一切苦真實不虛故說般若波羅密
多咒即說咒曰羯帝羯帝波羅羯帝
波羅僧羯帝菩提娑婆訶般若心経

菩提薩垂ぼだいさつたになるために、

プラジュニャー・パーラミター

という真言マントラを知りなさい。

★東ひがしの方位ほういには、靈妙れいみょうな真言マントラを唱となえます。大神だいじんと云いいます。

普賢菩薩ふげんぼさつさまの真言マントラです。

★南みなみの方位ほういには、明快めいかいな真言マントラを唱となえます。大明だいみょうと云いいます。

文殊菩薩もんじゆぼさつさまの真言マントラです。

★西にしの方位ほういには、極上ごくじょうの真言マントラを唱となえます。無上むじょうと云いいます。

弥勒菩薩みろくぼさつさまの真言マントラです。

★北きたの方位ほういには、比類ひるいない真言マントラを唱となえます。無等等むとうべうと云いいます。

觀自在菩薩くわんじざいぼさつさまの真言マントラです。

これらの真言マントラを唱となえることで、すべての苦くるしみが能よく除のぞかれる準備じゅんびが整ととのいます。これを能除のうじよ一切苦いっせくと云いいます。

観自在菩薩さまがエネルギーに満たされ安定した空なる場所を
かんじざいばさつ はつけん しんじつ ぼしよ きよむ あんてい くう ぼしよ
 発見したのは真実です。その場所は虚無ではありません。現実逃避
げんじつとうひ
 ではないのです。

ゆえに、

プラジュニャー・パーラミター

という真言を唱えなさい。
まんとら とな

$E^2 = (mc^2)^2 + (pc)^2$
 if $m=0$ then $E=pc=h\nu$
 if $v=0$ then $E=mc^2$, because of $p=mv$

E : エネルギー
 m : 質量
 c : 光の速さ
 p : 運動量
 h : プランク定数
 ν : 光の振動数
 v : 速度

もしも人が
 質量を維持したままで
 内なる光の粒子を
 光の波動に変容したら
 どうなるかしら？

プラジュニヤー ちえ え
般若の智慧を得るために、

ここに説く真言をすぐに唱えなさい。
と マントラ とな

★東に向かつて、ガーテ
ひがし む

★南に向かつて、ガーテ
みなみ む

★西に向かつて、パーラー・ガーテ
にし む

★北に向かつて、パラサム・ガーテ
きた む

★反転し南に向かつて、ボディー・スヴァハー
はんでん みなみ む

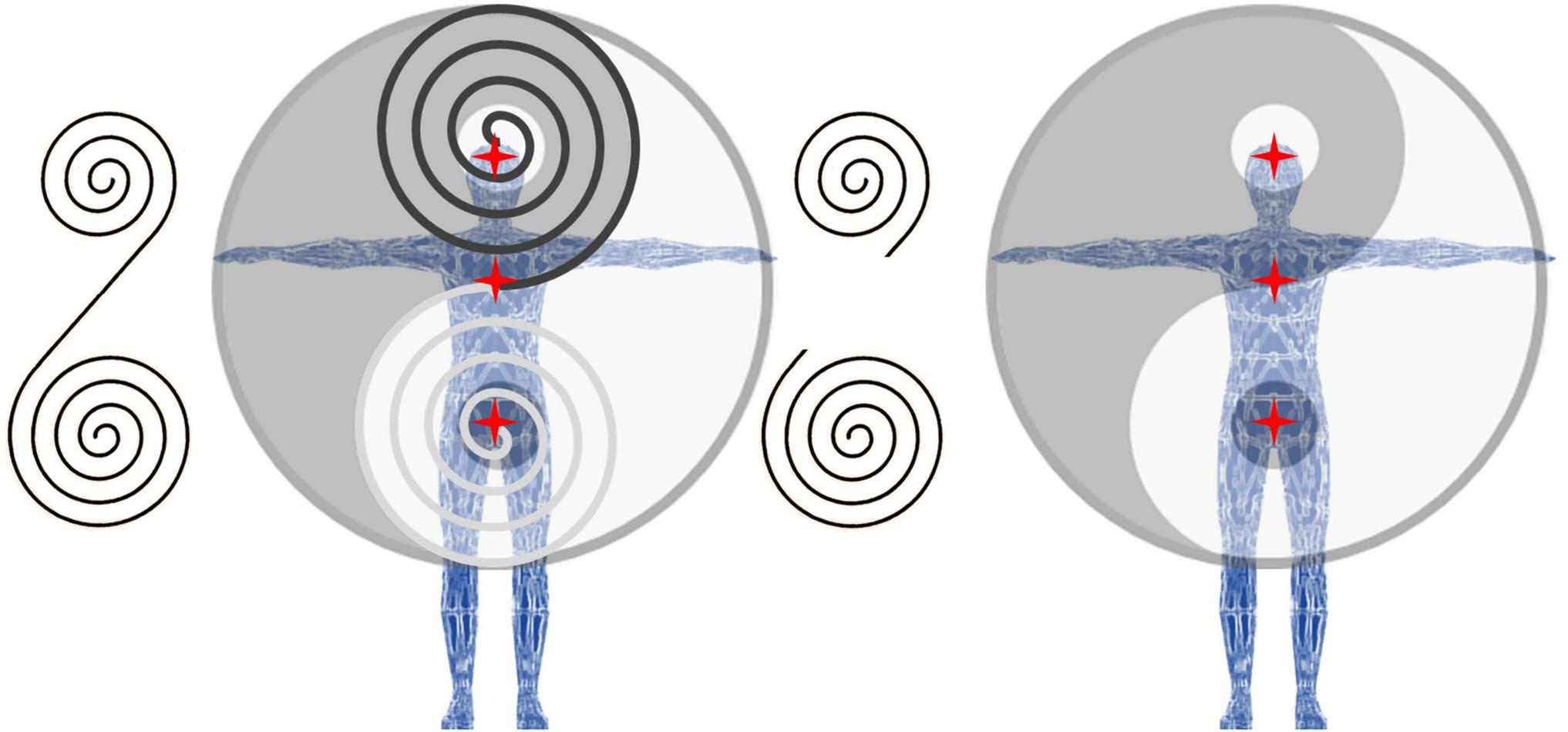
その場所に四面結界が生じて、観自在菩薩さまが降臨します。
ぼしよ しめんけつかい しよう かんじざいぼさつ こうりん
あなたの苦しみをすべて言いなさい。祝いなさい。祈りなさい。
くるとん いわ いの

つづ つぎ マントラ とな
続けて、次の真言も唱えなさい。

プラジュニヤー・フリーダヤ・スートラム

そして再び、般若心経を読みなさい。
ふたたび はんにやしんぎよう よ

令和の般若心経



令和の般若心経

摩訶般若波羅密多心経

<p>般若心経</p> <p>即説呪曰 羯帝 羯帝 波羅羯帝 波羅僧羯帝 菩提僧娑訶</p>	<p>故知 般若波羅密多 是大神咒 是大明咒 是無上咒 是無等等咒 能除一切苦 真實不虛 故説 般若波羅密多 咒</p>	<p>依 般若波羅密多 故心 無罣礙 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛倒 夢想究竟涅槃 三世諸仏 依 般若波羅密多 故得 阿耨多羅三藐三菩提</p>	<p>舍利子 是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減 是故空中無色 無受想行識 無眼耳鼻舌身意 無色声香味触法 無眼界乃至無意識界 無無明亦無無明尽乃至 無老死亦無老死尽 無苦集滅道 無智亦無得以 無所得故 菩提薩垂</p>	<p>舍利子 色不異空 空不異色 色即是空 空即是色 受想行識 亦復如是</p>	<p>觀自在菩薩 行深 般若波羅密多 時 照見五蘊 皆空 度一切苦厄</p>	
<p>再帰 宣言</p>	<p>3つの段階、実践方法</p>		<p>次段階の理論</p>	<p>空を知り空に成る理論</p>		<p>目標 宣言</p>
<p>◆◆ 繰返し深める</p>	<p>◆ 般若の真言</p>	<p>◆◆◆◆ 普賢の真言 文殊の真言 弥勒の真言 観世音の真言</p>	<p>◆ 般若の智慧</p>	<p>◆◆◆ 文殊の智慧 弥勒の智慧 観世音の智慧</p>	<p>◆ 普賢の智慧</p>	<p>◆◆◆◆ 空を知る 空に成る 苦悩を除く 厄災を除く</p>

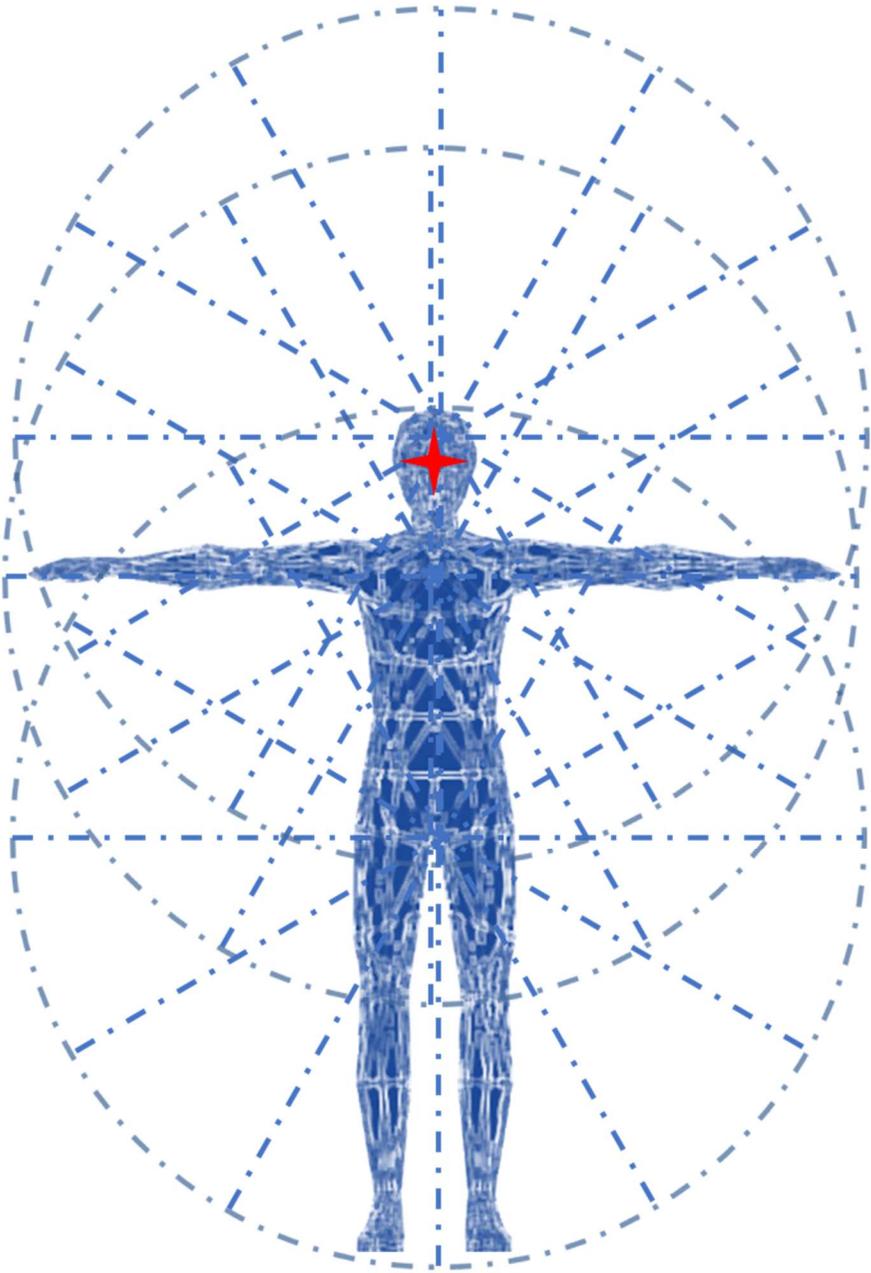
②マジカルに、わたしへプラジュニャー・フリーダヤ

マカはんにはやはらみつたしんぎよう
魔訶般若波羅密多心経

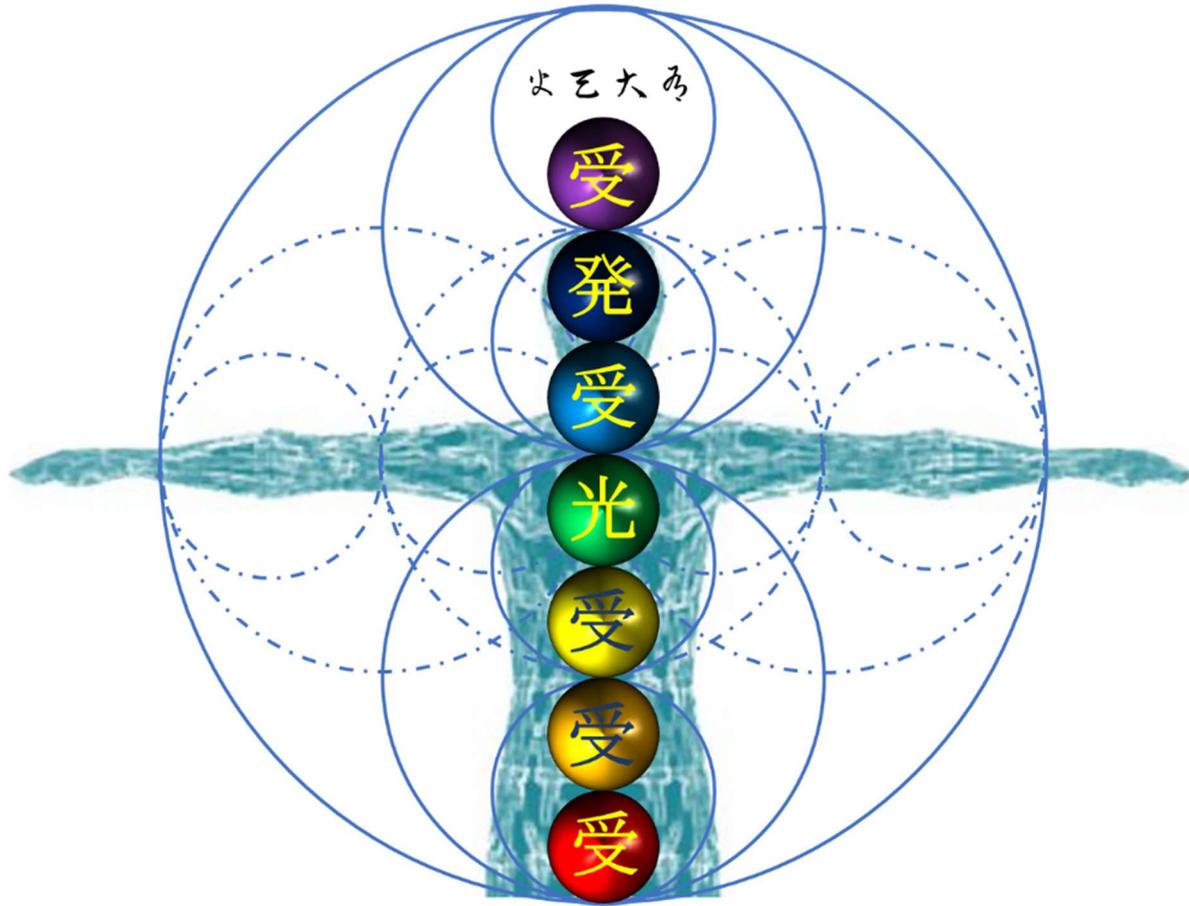
くう し ほだいさつた こいさび
空を知り菩提薩垂を志すわたしが唱えます。
かんじさいほさつ
観自在菩薩さまは

プラジュニャー・パーラミター

マントラもち くかえふかぎよう
という真言を用いて、繰り返し深く行しました。アジナーチャクラ
ときしやうけんごうん くう
から時を照見し、五蘊すべて空となる時空連続体を創造したのです。
じくうかん くる わざわ そんざい
この時空間には、すべての苦しみや災いは存在しません。



令和の般若心経



観自在菩薩さまは

この空なる場所に、わたしを導きます。

空くうを知りし子供時代のシャーリプトラと成なったわたしへ、鏡之体かがみのからだに
問といます。

識不異空しきふいこう

空不異識くうふいしき

識即是空しきそくぜくう

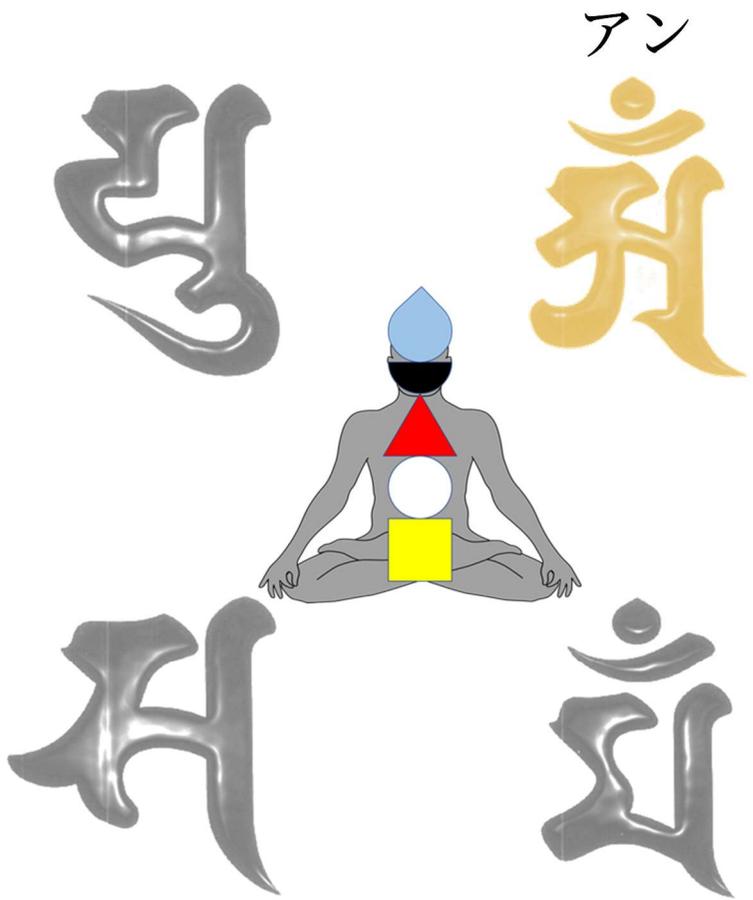
空即是識くうそくぜしき

まで至いたっているのです。

五蘊ごうんすべて空くうとなる認識にんしきに居いるのです。

空くうとは物質ぶつしつのない時空間じくうかんに光ひかりのエネルギーが満みち溢あふれている
状態じょうたいです。粒子りゅうしの状態じょうたいでは、ぶつかり弾はじかれます。波動はどうとなり、
はじめて合ごうりき力が生まうれるのです。

鏡之体かがみのからだは普賢菩薩ふげんぼさつさまの智慧ちえに至いたっております。



こどもじだい
子供時代のシャリープトラと成なったわたしへ、星之体ほしのからだに説ときます。
この宇宙うちゅうの存在そんざいは、すべて空くうエネルギーと同位どういであり、次つぎの法則ほうそく
です。

不生不滅ふじょうふめつ

不垢不淨ふくふじよう

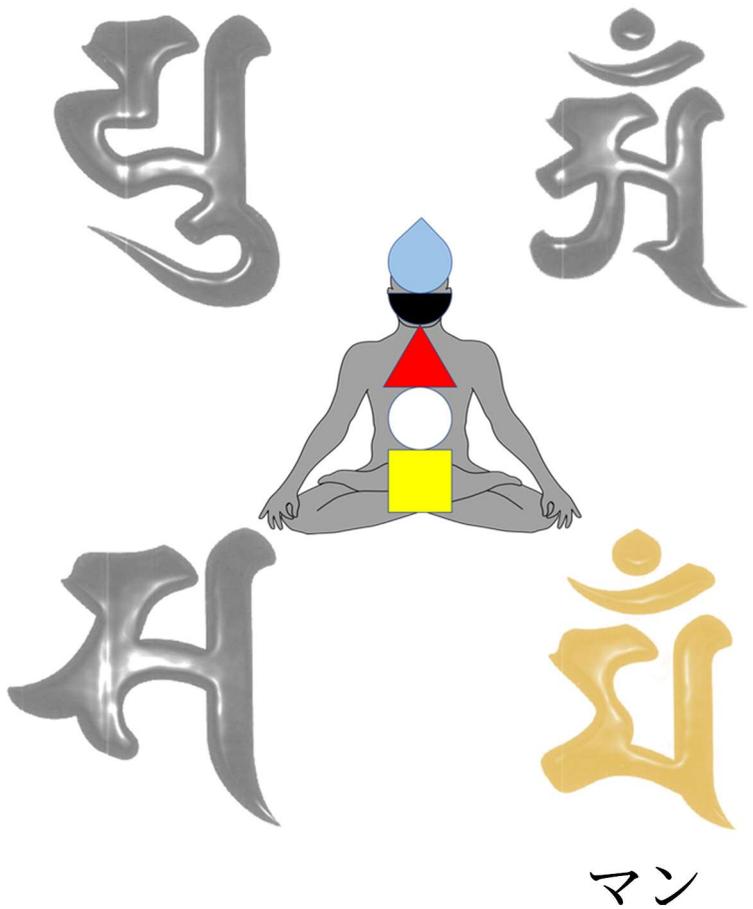
不増不減ふぞうふげん

せかい
この世界せかいにおけるエネルギーの総量そうりようは不変ふへんです。

ぜんたい
全体の性質せいしつも一定いつていです。

うちゅうけい
この宇宙系うちゅうけいは閉じているのです。

ほしのからだ
星之体ほしのからだは文殊菩薩もんじゅぼさつさまの智慧ちえに至いたっております。



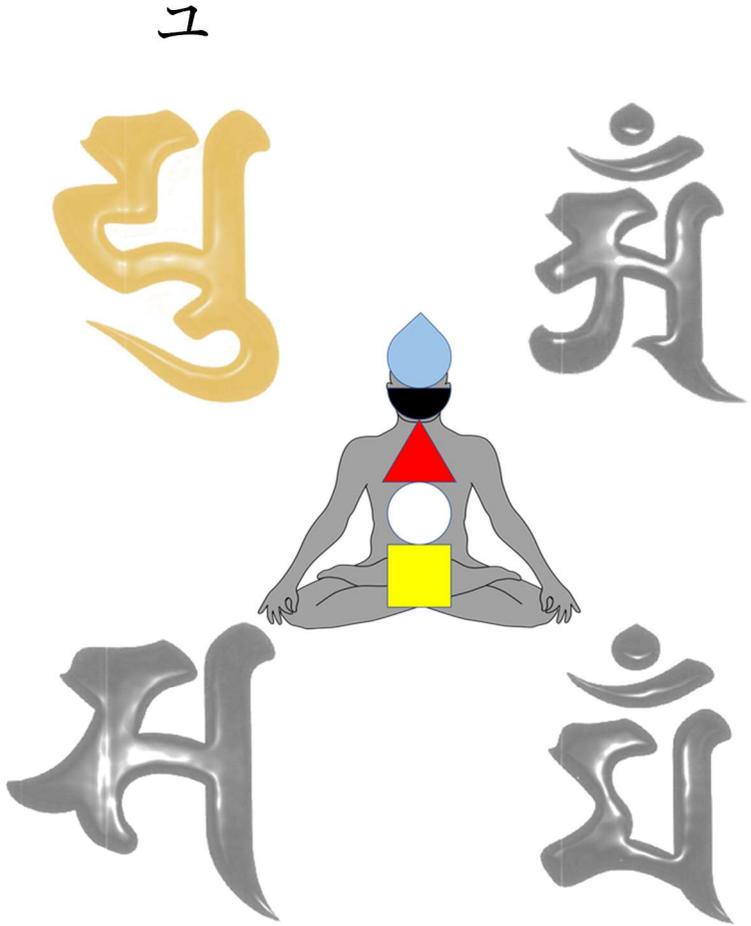
これらの法則は五蘊にも適用されます。

同じように、六根や六境や六識界、十二因縁の順観と逆観、四諦にも適用されます。

すべてが同じくエネルギー同位の存在であり、独立しては存在しません。区別などありません。

この宇宙は万物流転のエネルギーの中にある単一性なのです。

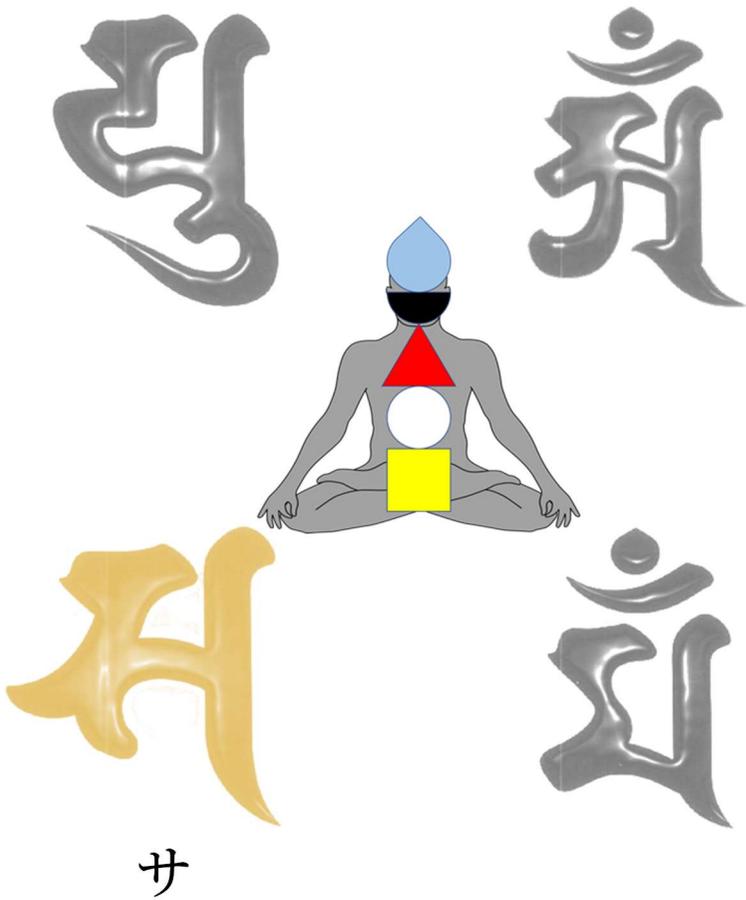
星之体は弥勒菩薩さまの智慧に至っております。



智ちは無なく、また、得とくも無ない、そのことをもって、所しよ得とくがないゆえに菩ぼ提だい薩さつ垂たに成なる智ち慧えに、至いたっています。

自じ身しんにおいて、主しゆ観かんも客きやつ観かんもなくエネなルかギとーのこ中なかに溶とけ込こんで、満みたされ安あん定ていして存そん在ざいすることで、菩ぼ提だい薩さつ垂たに成なります。

星ほし之の体からだは觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さつさまの智ち慧えにいたっています。



ぼだいさつた
菩提薩垂は、

プラジュニヤー・パーラミター

マントラ
という真言のおかげで、心こころに罣礙けいげがありません。罣礙けいげが無いから
恐怖きょうふもありません。

まよ
あらゆる迷い、憑靈現象ひようれいげんしやうから遠く離れていきます。

ねはん あんじゆう
そして涅槃ねはんに安住あんじゆうします。身体しんたい・幽体ゆうたい・霊体れいたい、三つの世界せかいに留まり
ほとけ ひとり な
仏ほとけになった人達ひとたち、わたしもその一人ひとりに成るのです。

ぼだいさつた
菩提薩垂は、

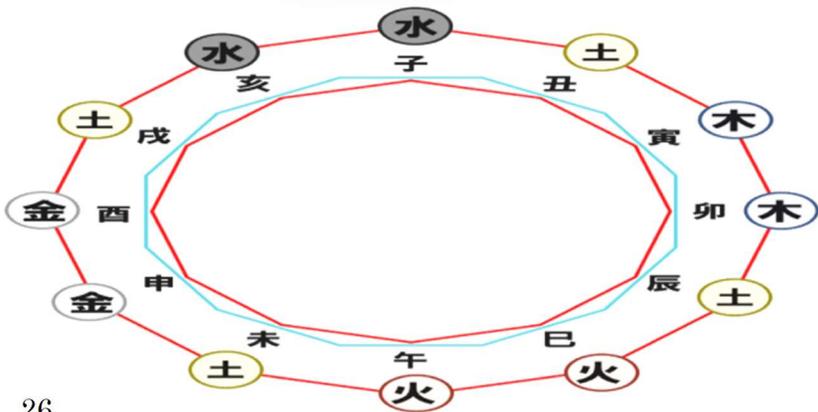
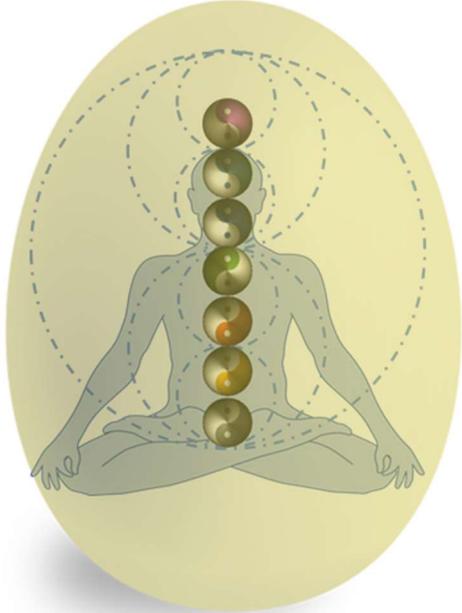
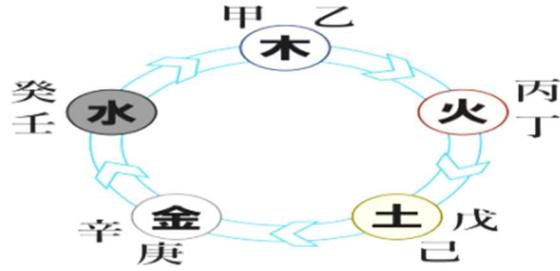
プラジュニヤー・パーラミター

マントラ
という真言のおかげで、
アヌツタラー・サムヤツクサンボーディ

マントラ え
という真言を得ます。

しつりよう はどう じざい あやつ みつ せかい み きゆうきよく のうりよく え
質量しつりようの波動はどうを自在じざいに操りあやつ、三つの世界せかいを観る究極きゆうきよくの能力のうりよくを得
るのです。

令和の般若心経



漢字「得」は三文字あります。三つの世界に
 漢字「無」は二十一文字です。3で割ると7です。
 漢字「空」は七文字あります。7つのチャクラに
 漢字「無」は十二支のエネルギーを暗喩しています。
 故に、三つの世界に応じてエーテル含む身体とアストラル体とメンタル体、3つの体それぞれの7つのチャクラを空にして、十二支のエネルギーを循環させて、阿耨多羅三藐三菩提を得ると書かれています。
 プラジュニヤー 般若の智慧を得て菩提薩垂になった後に、この段階へ進みます。さらなる目標があることを知っておくのです。菩提薩垂に到達するまではメンタル体が存在するとは限らないからです。

菩提薩垂ぼだいさつたになるために、

プラジュニャー・パーラミター

という真言マントラを知ります。

☆東ひがしの方位ほういには、大神だいじんの真言マントラを唱となえます。

オン・サンマヤ・サトバン

☆南みなみの方位ほういには、大明だいまようの真言マントラを唱となえます。

オン・アラハシヤ・ノウ

☆西にしの方位ほういには、無上むじょうの真言マントラを唱となえます。

オン・マイタレイヤ・ソワカ

☆北きたの方位ほういには、無等むとう等の真言マントラを唱となえます。

オン・アロリキヤ・ソワカ

これらの真言マントラを唱となえることで能除のうじょ一切苦いっせきくに渡わたる能力のうりよくが整ととのいます。

周易しゅうえきの大川たいせんを渡わたるのです。太陽系たいようけいを超こえて、天あまの銀河ぎんがを渡わたるのです。

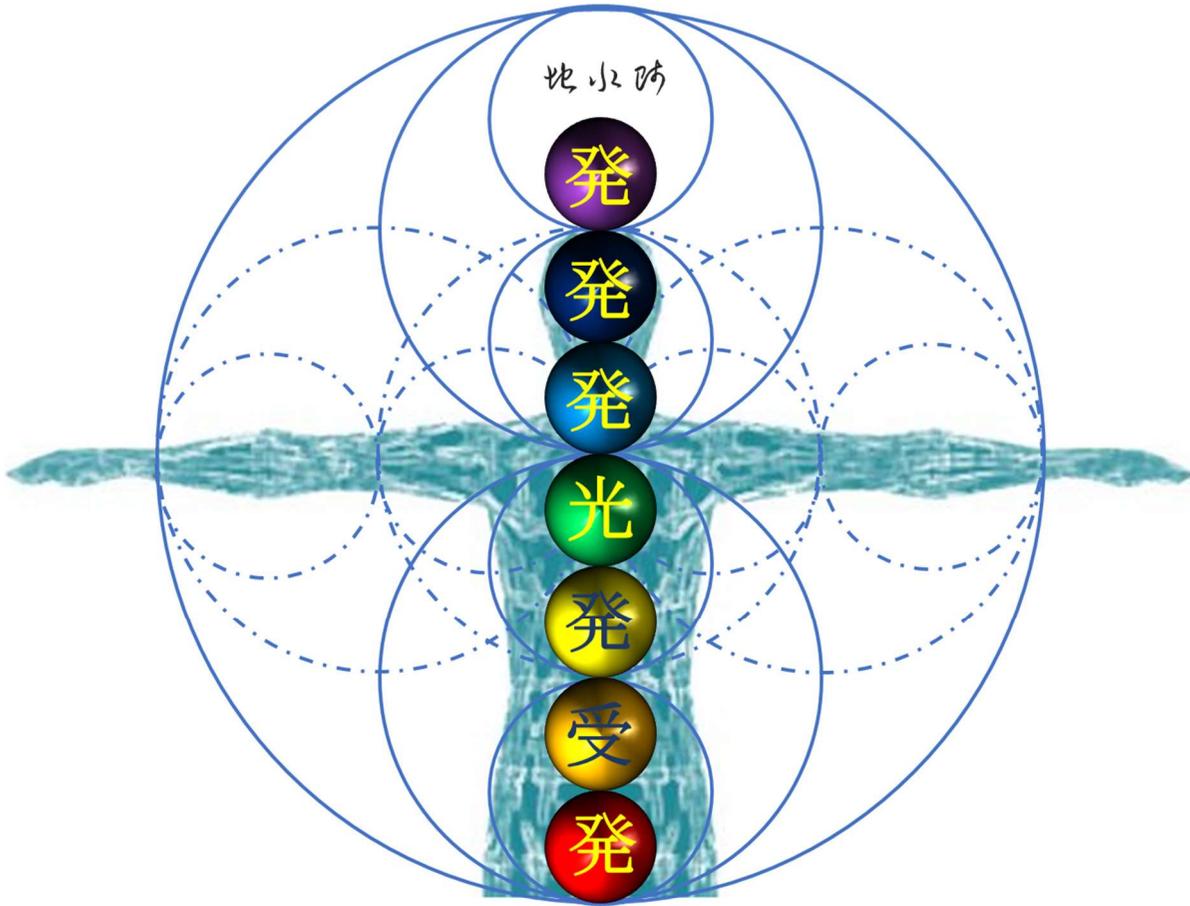
そうすることで、一切いっせきの苦惱くのおうが除のぞかれる、良よいエネルギーじょうたいの状態じょうたいになるのです。

観自在菩薩さまが空なる場所を創造したのは真実です。
その場所は虚無ではありません。エネルギーに満ちています。

ゆえに、

プラジュニャー・パーラミター

という真言を唱えます。



プラジュニヤール ちえ え
般若の智慧を得るために、

ここに説く真言をすぐに唱えます。
と マントラ とな

空を知ったわたしには、既に方位は自在です。
くう し すで ほうい じざい

★東と決めて、ゲーター
ひがし き

みけん いしき しゅうちゆう とけいまわ うち そと うず
眉間に意識を集中、時計回りに内から外へ渦エネルギー

★南と決めて、ゲーター
みなみ き

へそした いしき しゅうちゆう ほんどけいまわ そと うち うず
臍下に意識を集中、反時計回りに外から内へ渦エネルギー

★西と決めて、パーラー・ゲーター
にし き

みけん いしき しゅうちゆう とけいまわ うち そと うず
眉間に意識を集中、時計回りに内から外へ渦エネルギー

★北と決めて、パラサム・ゲーター
きた き

へそした いしき しゅうちゆう ほんどけいまわ そと うち うず
臍下に意識を集中、反時計回りに外から内へ渦エネルギー

★ふたたび南と決めて、ボディー・スヴァハー
みなみ き

みけん へそした しゅうちゆう
眉間から臍下へ、エネルギーをつなげて収容

たちまち結界を生じて、観自在菩薩さまと同調します。わたし
けっかい しやう かんじざいぼさつ ぶどうちやう
の望みをすべて言いましょう。祝いましょう。光と共にありましょ
のぞ い いわ ひかり とも
う。

令和の般若心経

☆しばらくして、プラジュニャー・フリーダヤ・ストラム

苦厄くやくに気づきくうちきは、玄奘げんじょうさまの記しるす般若心経ほんにやしんぎょうを繰くり返かえし唱となえま
す。

プラジュニャー ちえ え こんごうざつた あかつき
般若の智慧を得て、金剛薩埵こんごうざつたとなった暁あかつきには、

次つぎの段階だんかい、阿耨多羅三藐三菩提あヌツタラー・サムヤツクサンボーディを得るために、咒しゆを繰くり返かえします。

2つの口くちを使つかいます。外言がいげんに内言ないげんを加くわえて重かさねるのです。

★ガーター 東★プラジュニャー・パーラミター

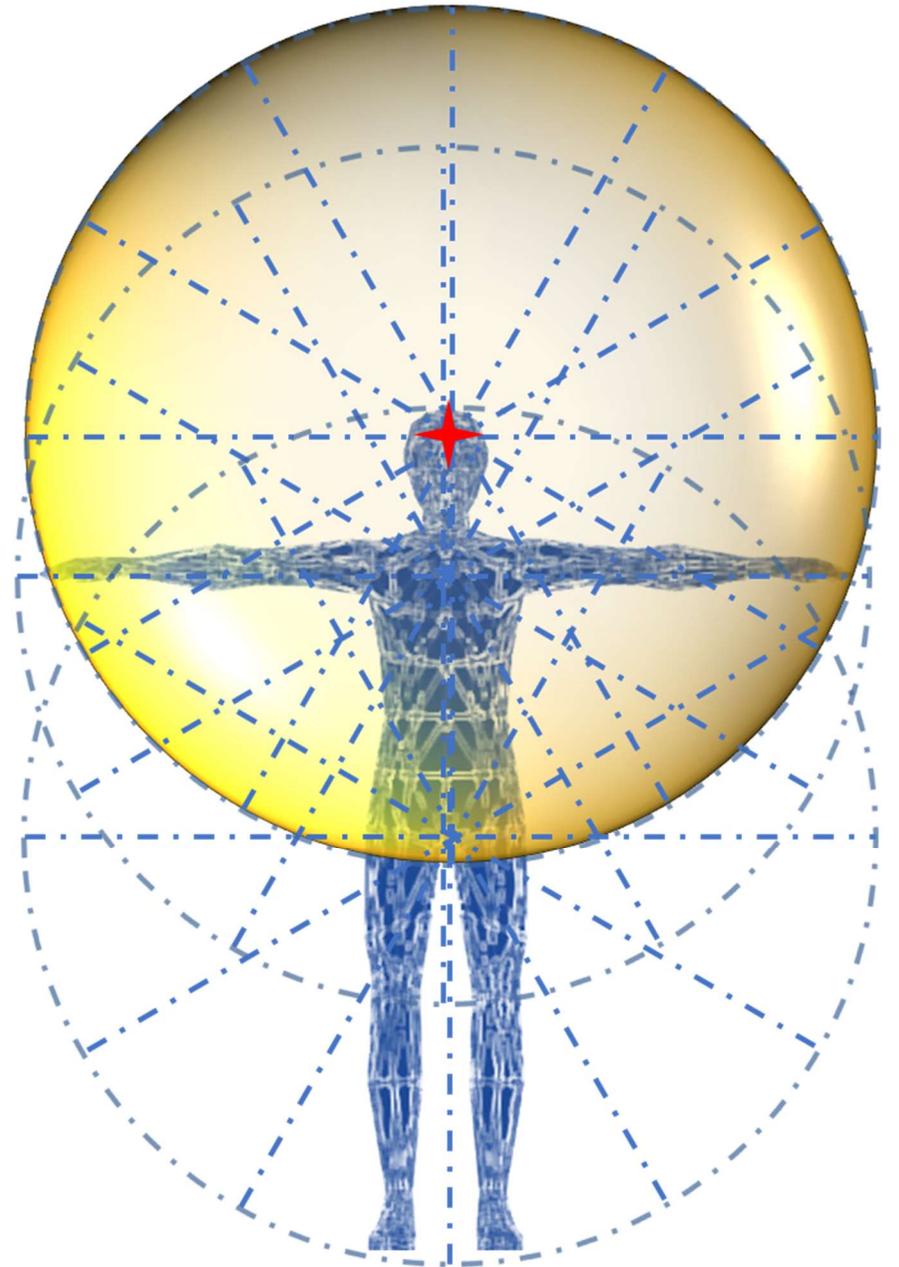
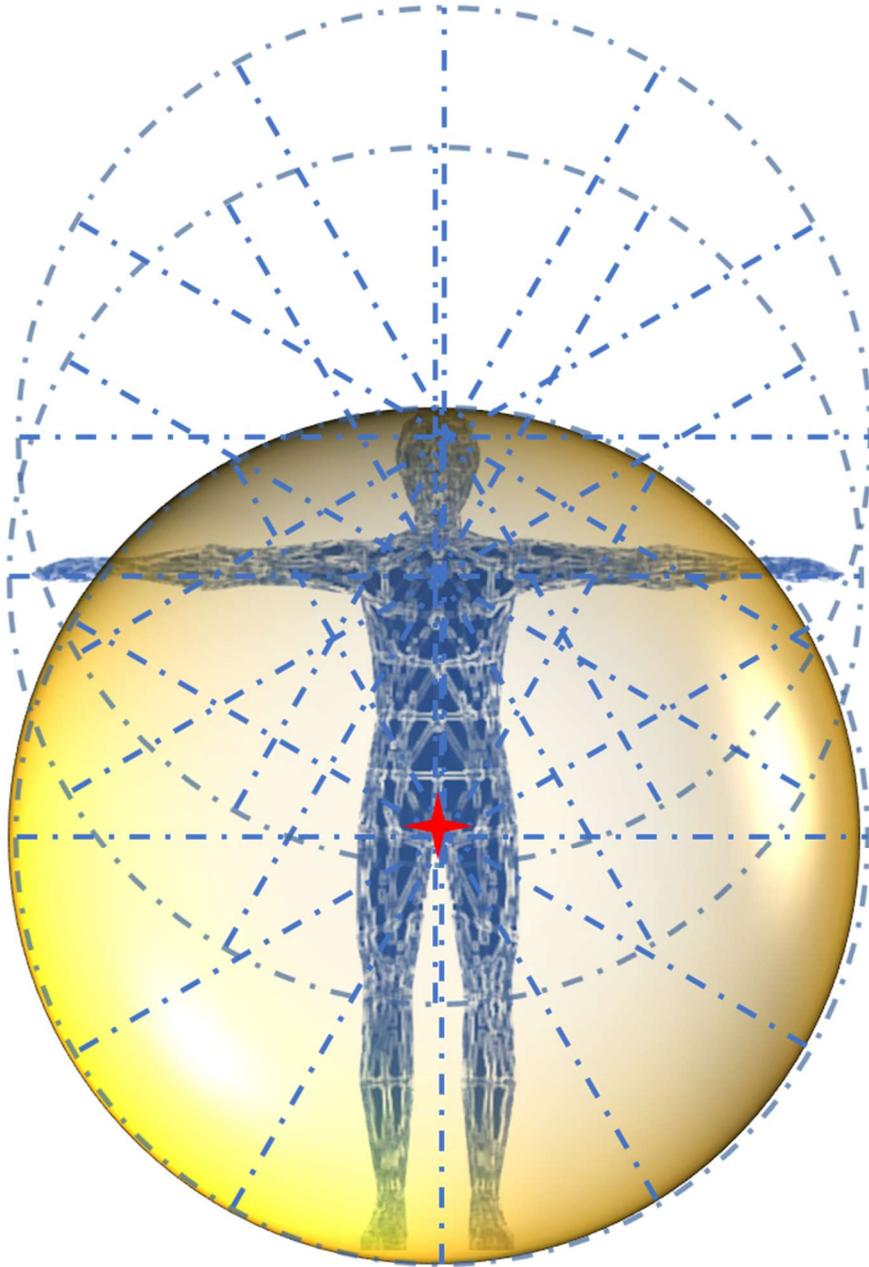
★ガーター 南★プラジュニャー・パーラミター

★パーラー・ガーター 西★プラジュニャー・パーラミター

★パラサム・ガーター 北★プラジュニャー・パーラミター

★ボディー・スヴァハー 南★プラジュニャー・パーラミター

令和の般若心経



令和の般若心経

③ラジカルに、われらへプラジュニャー・フリーダヤ

- ☆プラジュニャー・パーラミター
- ☆プラジュニャー・パーラミター
- ☆プラジュニャー・パーラミター
- ☆アヌツタラー・サムヤツクサンボーディ
- ☆プラジュニャー・パーラミター
- ☆プラジュニャー・パーラミター

オーン

★ガーター

東

★ガーター

南

★パーラー・ガーター

西

★パラサム・ガーター

北

★ボディー・スヴァハー

南

★プラジュニャー・フリーダヤ・ストラム

× 3

呪しゆをおこな行ないます。口くち2つ、外がいげん言げんに内ないげん言げんをくわ加かえて重かさねます。

×3

内言

オーン

★ガーター 東★色☆プラジュニヤー・パーラミター

★ガーター 南★受☆プラジュニヤー・パーラミター

★パーラー・ガーター 西★想☆プラジュニヤー・パーラミター

★パラサム・ガーター 北★行☆プラジュニヤー・パーラミター

★ボディー・スヴァハー 南★識☆プラジュニヤー・パーラミター

★プラジュニヤー・フリーダヤ・スートラム

令和の般若心経

さらに秘密の鍵を使い、加えて重ねます。

オーン

東★ガーテ

東☆オーン・サマヤス・トヴァン
色☆プラジュニャー・パーラミター



南★ガーテ

南☆オーン・アラパチャ・ナー
受☆プラジュニャー・パーラミター



西★パーラー・ガーテ

西☆オーン・マイトレイヤ・スヴァハー
想☆プラジュニャー・パーラミター



北★パラサム・ガーテ

北☆オーン・アールリク・スヴァハー
行☆プラジュニャー・パーラミター



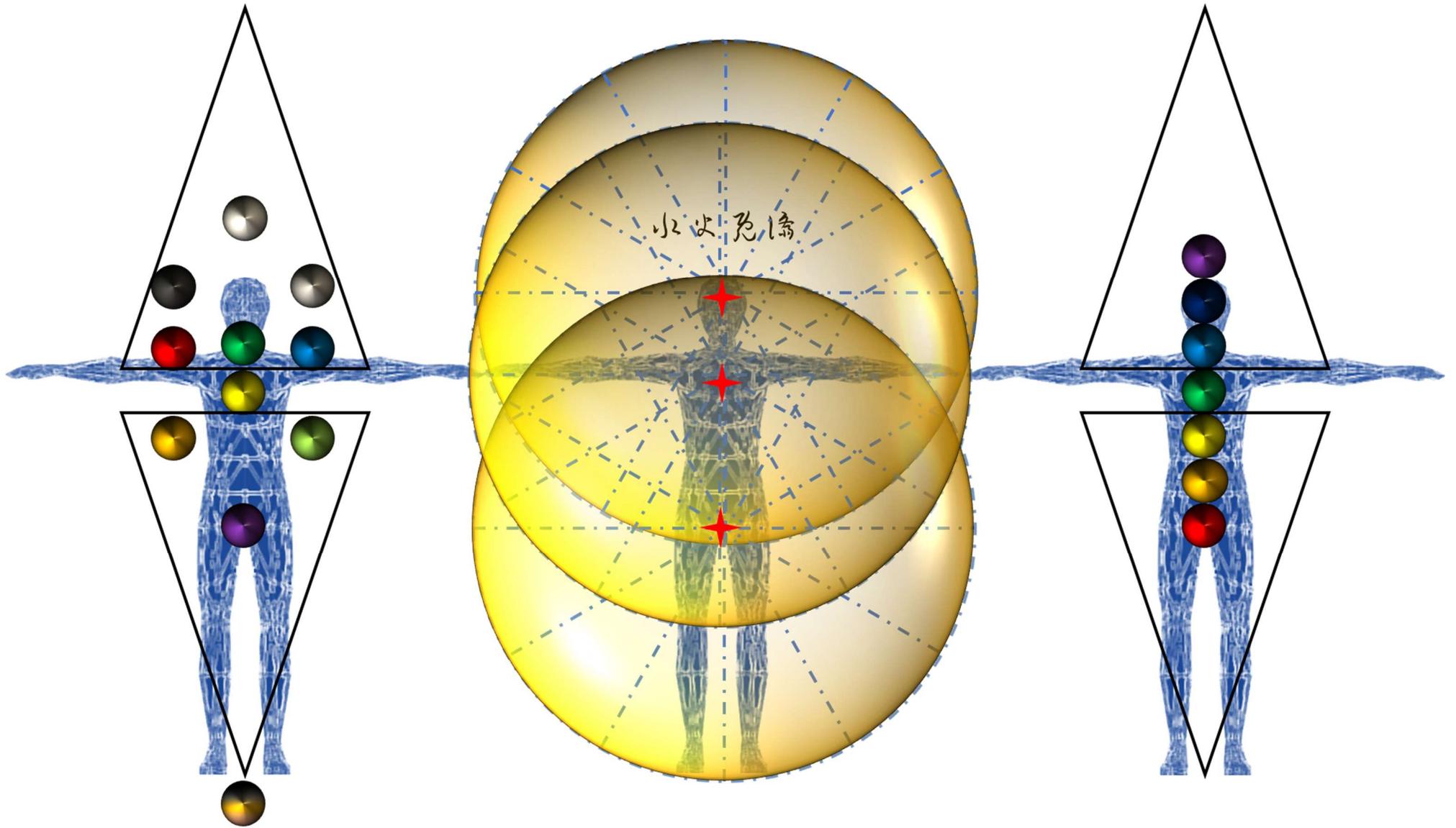
南★ボディー・スヴァハー
識☆プラジュニャー・パーラミター



★プラジュニャー・フリーダヤ・スートラム



令和の般若心経



摩訶般若波羅密多心經

三藏法師玄奘訳

かんじざいばざつぎようじん
観自在菩薩行深

プラジュニヤール・パーラミター

般若波羅密多

じしやうけんごうんかいくう
時照見五蘊皆空

どいつさいくやく
度一切苦厄

しゃりし

舍利子

しきふいくう
色不異空

くうふいしき
空不異色

しきそくぜくう
色即是空

くうそくぜしき
空即是色

じゆそうぎようしきやくぶによぜ
受想行識亦復如是

しゃりし

舍利子

ぜしよほうくうそう
是諸法空相

ふしやうふめつ
不生不滅

ふくふじよう
不垢不淨

ふぞうふげん
不增不減

ぜこくうちゆうむしき
是故空中無色

むじゆそうぎようしき
無受想行識

むげんにびぜつしんい
無眼耳鼻舌身意

むしきしやうこうみそくほう
無色声香味触法

むげんかいななしむいしきかい
無眼界乃至無意識界

むむみやうやくむむみやうじんないし
無無明亦無無明尽乃至

むろうしやくむろうしじん
無老死亦無老死尽

むくしゅうめつどう
無苦集滅道

むちやくむどく
無智亦無得以

むしよどくこ
無所得故

ぼだいさつた
菩提薩垂

え

プラジュニヤール・パーラミター
般若波羅密多

こしん
故心

むけいげ
無罣礙

むけいげこ
無罣礙故

むうくふ
無有恐怖

おんりいつさいてんどうむそう
遠離一切顛倒夢想

くきやうねはん
究竟涅槃

さんぜしよぶつ
三世諸仏

え

プラジュニヤール・パーラミター
般若波羅密多

こどく
故得

アヌタラー・サムヤックサンボーデー
阿耨多羅三藐三菩提

こち
故知

プラジュニヤール・パーラミター
般若波羅密多

ぜだいじんしゆ
是大神咒

ぜだいみやうしゆ
是大明咒

ぜむじやうしゆ
是無上咒

ぜむどうどうしゆ
是無等等咒

のうじよいつさいく
能除一切苦

しんじつふこ
真実不虛

こせつ
故說

プラジュニヤール・パーラミター
般若波羅密多

しゆ
咒

そくせつしゆわつ
即說咒曰

ガーター
羯帝

ガーター
羯帝

パーラー・ガーター
波羅羯帝

パラサム・ガーター
波羅僧羯帝

ボデー・スヴァハー
菩提娑婆呵

プラジュニヤール・フリーダヤ・ストラム
般若心經

觀世音菩薩

行深般若波羅密時

照見五陰空

度一切苦厄

舍利弗

色空故無惱壞相

受空故無受相

想空故無知相

行空故無作相

識空故無覺相

何以故

舍利弗

非色異空

非空異色

色即是空

空即是色

受想行識亦如是

舍利弗

是諸法空相

不生不滅

不垢不淨

不增不減

是空法

非過去非未來非現在

是故空中

無色無受想行識

無眼耳鼻舌身意

無色声香味触法

無眼界乃至無意識界

無無明亦無無明尽

乃至無老死無老死尽

無苦集滅道

無智亦無得

以無所得故

菩薩

依般若波羅密故

心無罣礙

無罣礙故

無有恐怖

離一切顛倒夢想苦惱

究竟涅槃

三世諸仏依

般若波羅密故

得阿耨多羅三藐三菩提

故知般若波羅密

是大明咒

無上明咒

無等等明咒

能除一切苦

真實不虛

故説般若波羅密咒

即説咒曰

竭帝竭帝

波羅竭帝

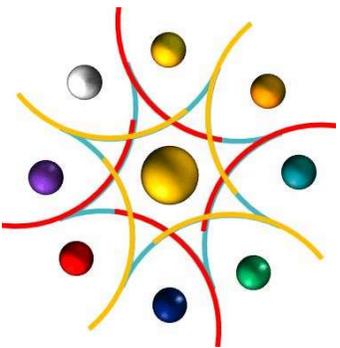
波羅僧竭帝

菩提娑婆呵

摩訶般若波羅密大明呪經

付録イ… 陽のイマジナル

- そもそもサンスクリット語が原典ではないこと。原典は神代漢字の碑文、この文明では失われていること。口伝で光の瞑想として残る。修行が進むと原典を観る。アダムカドモンやミドルピラーなどと同じ源流。
- 大般若経を知った異教徒、善意から般若の智慧を寄贈しようとしたのが般若心経の始まり。なぜなら、般若の智慧が失われていることに驚いたから。その異教徒たちが、仏陀の系統から伝えられているにも関わらず。サンスクリット語で編集した現地の異教徒には、智慧を失った仏門への苦言の念も生じていたかも知れない。
- 2人の玄奘、瞑想にて神代漢字の碑文を覓て探す旅に出る。碑文は発見できず、観自在菩薩が降臨する。初めに三つの蔵を修めた玄奘、一族に伝わる口伝とコツを西域に伝える。月氏の王子が熱心に修練した。書き残さず失われる。ご先祖さまの口伝が音だけになってしまった後の玄奘、三蔵を修めた上で西域へ経典を求め。異教徒による寄贈版を原典に回帰しつつ漢訳。異教徒の苦言を無力化し、異教徒への感謝の気持ちを漢字「神」一文字に畳み込み、封じる。さらに後世、2人の逸話が交じり合い、八卦の陰陽合一により西遊記が創作された。
- 鳩摩羅什となった漢訳は、瞑想の経験を踏まえて意識されたもの。光で明るい体験が経験となり漢字になった。
- 先の文明より流れる八卦と般若、2つの智慧。例えるなら、古代セフィロティック・レゾナンス入門編のテキストブック漢意訳。
- 声帯で空気振動の音波動、内言で体液振動の水波動、これら共鳴により、内なる光を光波動へ誘発させているイメージ。
- 身体を波動へ、意識を粒子へ。三十六種類の組み合わせエネルギーが六十四卦で表現されるコーディング作法へ続いている。
- 作法通りに3割は恣意的な方便にて、水山蹇は試さないこと。フチャマに用いるに嬉しい。



- ▼ 題字十文字は十干を暗喩する。仏説つけたら十二支。
- ▼ 「密」は密集のこと。内なる光を密集し親密でありたい。「蜜」で死霊を呼び寄せ浄化したいのなら、仏教らしいのかも知れない。
- ▼ 観自在が光の粒子、時間操作の能力。観察すると自在になる。観世音が光の波動、空間操作の能力。観察すると世界が音になる。音は波のこと。状態の異なる同じ存在。
- ▼ 「行深」の「行」は、五蘊の「行」のこと。行して識に至った時。
- ▼ 「子」は敬称と惑わして子haの漢訳。子供時代のシャーリプトラを「舍利子」と訳して、子供の際に見立てた呼びかけ。
- ▼ 登場するのは自分ひとり。霊体が身体と幽体に呼び掛けている。呼び掛けている自分は、真我や本質生命体など。多重構造、一霊が四魂に語り掛けている。
- ▼ 舍利子へ呼びかけ1回目は、エーテル含む身体へ、物質と熱量の身体が瞬時に変容するエネルギーだと呼び掛ける。奇身霊。
- ▼ 舍利子へ呼びかけ2回目は、アストラル体へ、どのような感情も同一のエネルギーで、系は閉じており、流転しており、ワンネスだと呼び掛ける。幸身霊、荒身霊、和身霊。
- ▼ メンタル体は、菩提薩垂に成る修行では到達しない。だから、3つ目の舍利子を失くしている。Eaなしチャーリプトラを省略。段階を経ないと到達できないから。直霊。
- ▼ 五蘊は多様な多重構造。五感、五大、五行など5つのエネルギーを示し、5つの修行法も暗喩する。縦レイヤ層と横ティア層の双方に相応する。多重構造だから1対1では対応しない。まずは五感で始める。そして5つのエネルギーで舟を編む。大川を渡るために。
- ▼ 五蘊の5つが、5つの無グループに対応している
- ▼ 「度」は計測済だから努力を要しないで「わたる」こと。「渡」は舟を漕いで自力で「わたる」こと。
- ▼ 罣礙が2つあるのは、左右の肩甲骨のこと。ボディワーク必須。
- ▼ 三世は多重構造で、現在・過去・未来、そしてエーテル含む身体・アストラル体・メンタル体のこと。霊体・幽体・身体。多重構造だから1対1では対応しない。
- ▼ 般若の智慧とは、生命の智慧。内なる光の波動が振動し始めること。イニシエーション。周波数のアップダウンを習得するのは、次の段階、阿耨多羅三藐三菩提。
- ▼ 阿耨多羅三藐三菩提は、原文回帰。使わない真言。
- ▼ 心経、心の働きとは心へ光を通すこと。自身の中を光の束で満たす。

- ▼ プラジュニャー・パーラミターはマントラそのもの。内言で使う。空になるマントラ。5回出てくる。五蘊に対応するから。まずは五感として始める。
- ▼ 1回目は、色を空にする「プラジュニャー・パーラミター」で、この段階では1つの物理世界だから、色に居る。
- ▼ 2回目は、受を空にする「プラジュニャー・パーラミター」で、2つの罣礙がないゆえに恐怖なしの、受に居る。
- ▼ 3回目は、想を空にする「プラジュニャー・パーラミター」で、次なる3段階「阿耨多羅三藐三菩提」を知ること、想に居る。
- ▼ 4回目は、行を空にする「プラジュニャー・パーラミター」で、咒が4つ続き、4方位の意で、行に居る。
- ▼ 5回目は、識を空にする「プラジュニャー・パーラミター」で、5つのマントラが続き、羊と曷の四方舞となる、識に居る。
- ▼ 咒の口が2つは、口から出す声の波動と内言を重ね合わせる事。大河を渡るマントラ「ガターター」に、内言で空になるマントラ「プラジュニャー・パーラミター」を重ねる。口が3つは靈のこと。
- ▼ 最後の「般若心経」は再帰宣言、繰り返すこと。大切な本文。あとがきではない。「波羅密多」をつけないのは、異なるマントラだから。光の束を心に通す。だから題字を別にして、二六六文字の解釈。
- ▼ 二六六文字のうち、八十八文字が、異教徒からの寄贈。
- ▼ 3段階の修行。まず、空の理論を知り、子供時代のシャーリプトラに成る。次に、プラジュニャー・パーラミター空のマントラにて、菩提薩垂に成る。そして、阿耨多羅三藐三菩提を目指すのに、外言マントラに内言マントラを加えて重ねる。
- ▼ 漢字「羯」の舞、羊と曷について。
- ▼ 天の銀河を渡る情景について。
- ▼ 意識を5次元に飛ばすのではなく、3次元で意識の粒子を制御する5次元の仕組みについて。3次元で云う波動とは、粒子のスピンのことだから。

付録ハ… 陽のパズル

空はウハエ、無は十二の柱で古事記とおり。現代漢字で読み取るのは数だけ。

個数	漢字
21	無
9	是
9	不
8	羅
7	空
7	故
7	波
6	若
6	色
6	多
6	般
6	咒
5	密

個数	漢字
4	帝
4	菩
4	亦
4	羯
3	一
3	苦
3	行
3	三
3	識
3	切
3	想
3	即
3	提
3	得
3	明
3	薩

個数	熟語
7	波羅
6	般若
5	密多
4	羯帝
2	一切苦
2	舍利子
2	罍礙

漢字の仕組みをアルファベットで例示する。

HEART SUTRA の 10 文字

HEART
SUTRA

RHET
ASEA
UTRA

神代文字の組み合わせで、神代漢字も生成されている。バラすとアナグラムになる。

神代文字の組み合わせが漢字の起源。これは漢字が逆輸入とされる所以。春秋戦国時代に各国の漢字がバラバラだったのは、神代文字の組み合わせ方が多様だったから。バラしてアナグラムを解くと同じになる。史記に出てくる人物のアナグラムは、古事記に出てくる柱とも一致する。すべての智慧をいつでも降ろせる人達にとって、文字の使用は神事に限られる。

漢字の部位から片仮名が作られているので、神代文字と片仮名が似ている。ギリシャ文字やABCにも似ている。カタカムナなどの48文字はエネルギーを現わしている。七掛ける七引く一が四十八となる。七足す七が十三の道理に同じ。

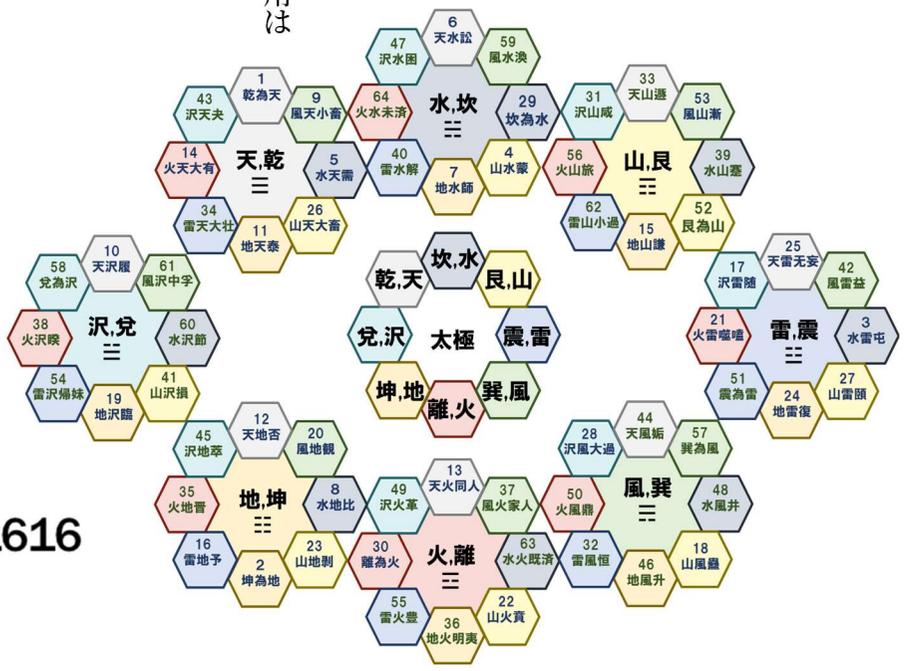
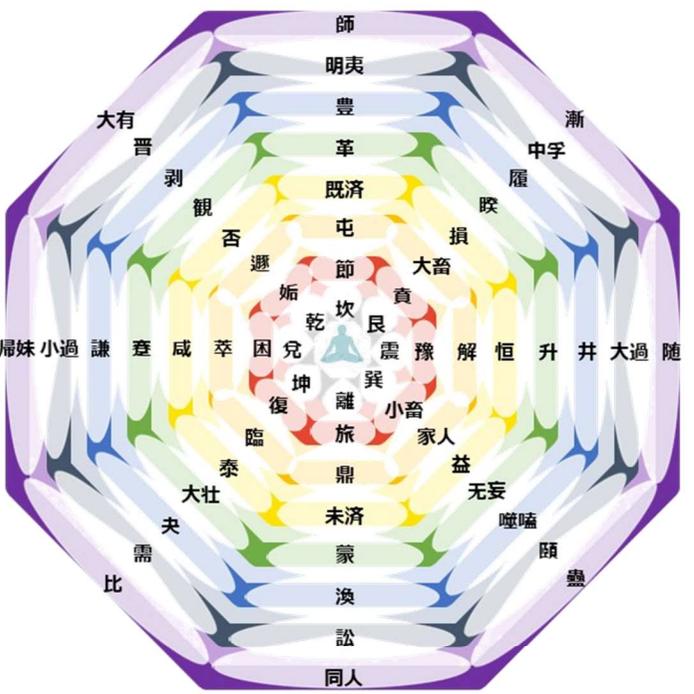
付録ニ… 陰のニーズ

般若の修練を読み解くには易経が肝要。易経はエネルギーのコーディング作法、老子がその取扱説明書の位置づけ。その歴史は大祓詞と古事記から読み解く。解釈の道は三通り。神話と漢文とシュメール音。橘の香る道に通じる。

月が製造のために八層を突き抜けて星を衝突させる。前のエネルギー配置が先天図、後の配置が後天図。ポールシフトで南北逆転。先天図の山・艮と後天図の山・艮を連ねて、六十四卦と成ったのが連山易。シンプル、簡易。時間と空間を閉じ込めた状態。時間の研究が梅花心易に通じる。



帰蔵は不易。八方位に八層の gate あり。時空間の研究で陰陽五行、断易の帰魂。これが世界の研究で、時空間のエネルギー作用は門の開・閉の64乗が種類となる。

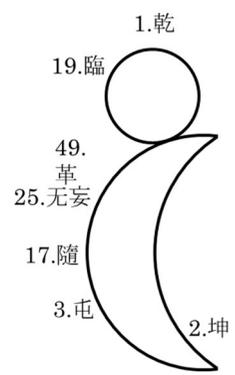


2⁶⁴

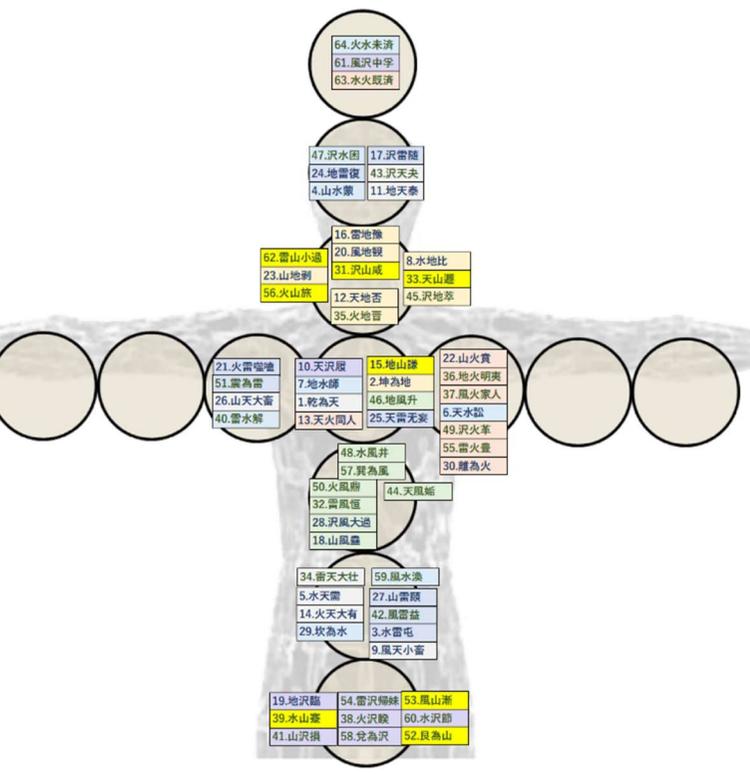
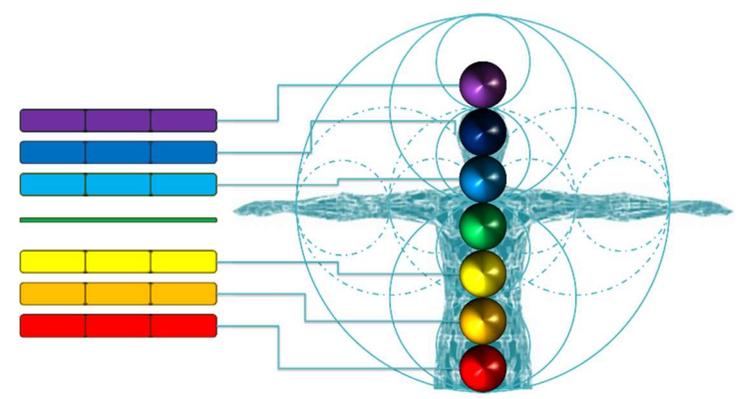
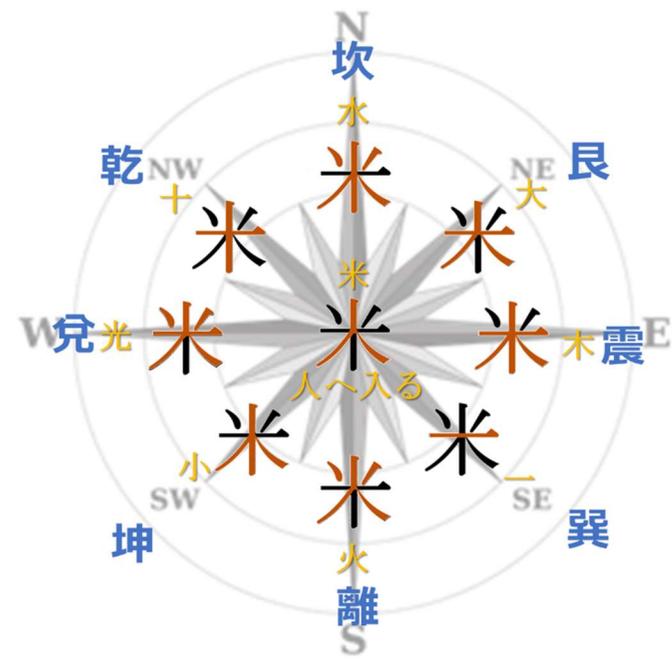
=18446744073709551616
≡1844京

周易は変易。だから易の三義に執着せずに Book of Change と訳される。
 これが吾の研究にて、
 大人と小人で解釈が異なる所以。

身体の対応も多重構造。
 7つのチャクラに始まり、



ハートは7つに横へ拡がる。
 7たす7が13になる所以。
 ミクロでは六層の DNA2 重螺旋の構造。



人間は量子コンピュータを造りたい。
 達人は既に吾が量子コンピュータで在ることに興味なく、
 弾丸両断の武芸を最適化数値計算の結ぶ果てと看做さず。

付録ホ.. 陽のホウル

光の三原色と五行、五行はエネルギーの性質を表現したもの。

光の三原色は、3つ重なると白色光になる。

絵具の三原色は、3つ重なると黒っぽい茶色になる。

ここでは3つ重ねて白色とする。青と藍のグラデーション。

◆木エネルギーが青で、垂直の性質

上に芽吹き、下に根を張るイメージ、成長

◆火エネルギーが赤で、水平の性質

平原に炎の広がるイメージ、加速

◆土エネルギーが黄で、停止の性質

不動の大地なイメージ、

これら3つはエネルギーの質を表す。波動の波長。

◆金エネルギーが白で明るさ、密集の性質

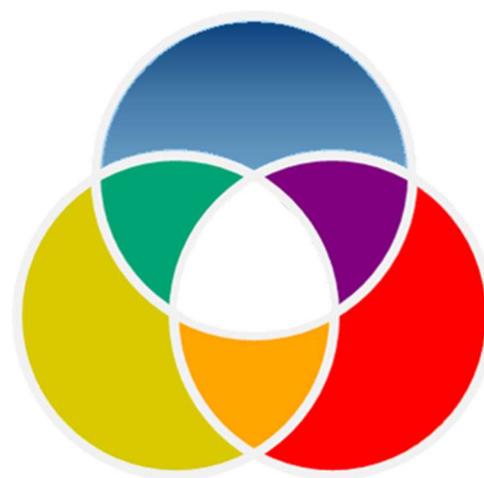
密集していると量が多く、明るい

◆水エネルギーが黒で暗さ、散在の性質

散在していると量が少なく、暗い

これら2つはエネルギーの量を表す。波動の振幅。

五蘊すべては空色であった。ブルースカイ。



可視光線 波長域[nm]	絵具	RGB			色
		赤	緑	青	
380~430	青と赤	128	0	128	紫
430~460	青と黄と黒	4	60	120	藍
460~500	青	137	189	222	青
500~570	青と黄	0	164	116	緑
570~590	黄	217	202	0	黄
590~610	赤と黄	255	165	0	橙
610~780	赤	255	0	0	赤

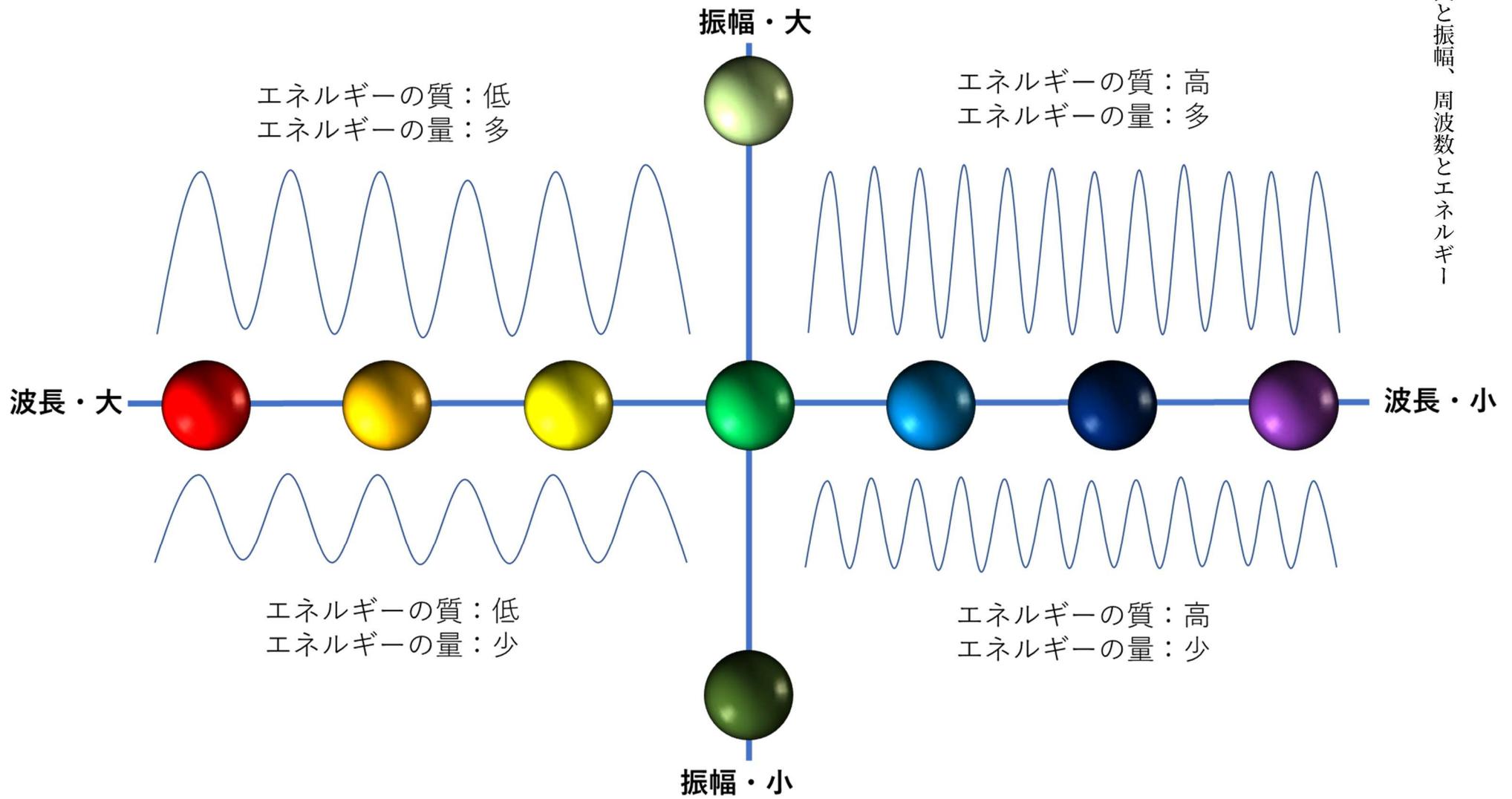
題字の十文字は十干に対応している。「般若」は「火」、「心経」は「水」になる。火水をカミとするなら、般若心経は般若神経の解釈を含む。縦横逆。

		摩	訶	般	若	波	羅	密	多	心	経		
		木 垂直		火 水平		土 停止		金 密集		水 散在			
		陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰		
		甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸		
空												識	
風												行	
火	光波動燃やす											想	
水	水波動流す											受	
地	音波動埋める	色											
		散在	停止	垂直	停止	水平	停止	密集	停止	散在			
		水	土	木	土	火	土	金	土	水			
		陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰		
		子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥

縦はレイヤ層、横はティア層のイメージ。
光の束で繋がっている。

五蘊は、縦ラインとまやかして、
横ラインに分布する。

							土	火	水	木	金		
無関心	こだわり	素直な こころ	しなやか	黄	聴覚	口						未来	三世
無感動	とらわれ	明るい こころ	にこやか	青	視覚	意						過去	
無気力	かたより	清らか こころ	さわやか	赤	触覚	身						現在	
							識	行	想	受	色		



陽はエネルギーであり原子核のスピン。中性子と陽子が意識と意志に対応。陰が物質であり電子のスピン。イザナギとイザナミの関係。濁音がエネルギー状態。スピンのエネルギーにより、イザという時に波動になり、イザという時に粒子になる。横隔膜を使う。吾を身霊に呼ぶ、呼吸の技巧。意識が物質とシンクロし、分けられた意識が物質に生じる。現象はスピン状態の変化。素粒子はの種類の ∞ セット、の交と100卦 ∞ セットの多重構造。

量子力学における2重スリット実験では、現象が確認されているだけで、原因が特定されているわけではない。だから複数の仮説がある。量子デコヒーレンスの概念に関わるか否かに由らず、観察者の存在で変動されていると考えられている場合が多い。そして、観察者がその場に居なくても、実験の予定を知っているだけで粒子化する。これはスピンのエネルギー状態に呼応する。意識と意志ではあるが、人間が制御できる領域とは異なる。

興味深いのは、原因はどうあれ、量子力学の実験で観察される現象が、化学実験では起こりえないと前提されていること。例えば、純粹で素直な身霊にて、s細胞の存在を認識する意識を持ち、意志を持って実験行動するなら、s細胞は創造されるだろう。そして、現人類の圧倒的なパワーにてs細胞は地球上から消滅させられ、ボディスヴァーハ。

古来「占い」とは世界のエネルギー状態を観ることだった。トを口にすること。ボクとは六角形、エネルギー調和の象徴。そして、人工的にエネルギーを作用させるための象が研鑽された。これが象形文字。文字の象を観るだけで空間のスピン状態が変化する。文字の生じるエネルギーにて、世界のエネルギーに干渉できる。文字により、吾のエネルギーに作用させるサポートも可能となる。

神代文字はエネルギー形状を表現している。だから、描画すればエネルギーが発生する。形状が異なっても、発するエネルギーが同等なら、同じ解釈。これが神代漢字の仕組み。

史記の徐福が、古事記の少名毘古那神に同等になる理由。アヤヒト都合な世界史がヒント。

バベルの塔、この物語もエネルギーの変容。

稲妻、3つの窓、十千十二支、落ちる男女、王冠

文字に関わらず言葉に関わらずエネルギーは同等

般若心経は、全体で1つの漢字、象とみなす。

エネルギー最適化の1つが、縦 Γ 文字横 Γ 6文字。



摩訶般若波羅密多心經

觀自在菩薩行深般若波羅密多時
照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子
色不異空空不異色色即是空空即
是色受想行識亦復如是舍利子是
諸法空相不生不滅不垢不淨不增
不減是故空中無色無受想行識無
眼耳鼻舌身意無色声香味觸法無
眼界乃至無意識界無明亦無無
明尽乃至無老死亦無老死尽無苦
集滅道無智亦無得以無所得故菩
提薩垂依般若波羅密多故心無罣
礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛
倒夢想究竟涅槃三世諸仏依般若
波羅密多故得阿耨多羅三藐三菩
提故知般若波羅密多是大神咒是
大明咒是無上咒是無等等咒能除
一切苦真實不虛故說般若波羅密
多咒即說咒曰羯帝羯帝波羅羯帝
波羅僧羯帝菩提娑婆呵般若心經

娑婆阿般若心經
 波羅揭帝若心經
 帝羯波羅揭帝
 多咒即說咒曰
 故說般若波羅密
 一切苦真不虛
 一無等咒能除
 是無等咒能除
 大明咒是神咒
 密多知般若羅
 提故知般若羅
 釋多羅密多故
 波羅密多故阿
 三世諸佛依般
 倒夢想究竟涅
 恐怖遠離一切
 礙無罣礙故無
 羅密多故心無
 提薩垂依般若
 得以無所得故
 集滅道無智亦
 亦無老死無苦
 明無乃至無老
 界無無明亦無
 眼界乃至無識
 色聲香味觸法
 眼耳鼻舌身意
 色無受想行識
 不減是故空中
 滅不垢不淨不
 諸法空相不生
 復如是舍利子
 是色色即空空
 色不異空空不
 一切苦厄舍利
 照見五蘊皆空
 般若波羅密多
 觀自在菩薩行
 般若心經

$$266 = 1 \times 266$$

色

$$266 = 7 \times 38$$

$$3+8=11$$

受

想

$$266 = 14 \times 19$$

$$14+19=33$$

識 行

$$266 = 2 \times 133$$

$$1+3+3=7$$

$$266 = 1 \times 2 \times 7 \times 19$$

歸妹

19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
波羅	多咒	一切	大明	提故	波羅	倒夢	礙無	提薩	集滅	明尽	眼界	眼耳	不滅	諸法	是色	色不	照見	觀自		1
僧羯	即說	苦真	咒是	知般	密多	想究	罣礙	垂依	道無	乃至	乃至	鼻舌	是故	空相	受想	異空	五蘊	在菩	摩訶	2
帝菩	咒曰	實不	無上	若波	故得	竟涅	故無	般若	智亦	無老	無意	身意	空中	不生	行識	空不	皆空	薩行	般若	3
提娑	羯帝	虛故	咒是	羅密	阿耨	槃三	有恐	波羅	無得	死亦	識界	無色	無色	不滅	亦復	異色	度一	深般	波羅	4
婆呵	羯帝	說般	無等	多是	多羅	世諸	怖遠	密多	以無	無老	無無	声香	無受	不垢	如是	色即	切苦	若波	密多	5
般若	波羅	若波	等咒	大神	三藐	仏依	離一	故心	所得	死尽	明亦	味触	想行	不淨	舍利	是空	厄舍	羅密	心經	6
心經	羯帝	羅密	能除	咒是	三菩	般若	切顛	無罣	故菩	無苦	無無	法無	識無	不增	子是	空即	利子	多時		7

付録へ： 陰のペンタ

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
01		アッター プラジュニヤー パーラミータ フリーダヤストラム	摩訶 般若 波羅密多 心經	摩訶般若波羅密大明咒經	
02	namaḥ sarvajñāya	ナーマ サルヴァジュニヤーヤ			ॐ नमः सर्वज्ञाय
03	Āryāvalokiteśvara bodhisattvo	アーリヤーアヴァローキテーシヴァラ ボーディヒサットヴォ	觀自在 菩薩	觀世音 菩薩	आर्यावलोकितेश्वर बोधिसत्त्वो
04	gambhīrāyaṃ	ガンブビーラーヤーム	行深	行深	गाम्भीर्याम्
05	prajñāpāramitāyāṃ	プラジュニヤーパーラミーターヤーム	般若波羅密多	般若波羅密	प्राज्ञापारमितायाम्
06	caryāṃ	チャリヤーム			चार्याम्
07	caramāṇo	チャラマーノ	時	時	चरमाणो
08	vyavalokayati	ビヤーマローカーティ	照見	照見	व्यवलोकयति
09	sma	スマー			स्म
10	pañca skandhāḥ	パンチャ スカンダーハ	五 蘊	五 陰	पञ्च स्कन्धाः
11	tāmśca	タームシュチャ			तश्च
12	svabhāva	スヴァバーヴァ			स्वभाव
13	śūnyān	シューニヤーン	皆 空	空	शून्यान्
14			度一切苦厄	度一切苦厄	
15				舍利弗 色空故無惱壞相 受空故無受相	

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
				想空故無知相 行空故無作相 識空故無覺相 何以故	
16	paśyati sma	パシュヤティ スマ			पश्यति स्म
17	iha Śāriputra	イハ シャーリプトラ	舍利子	舍利弗	उक्त शारिपुत्र
18	rūpaṃ śūnyatā śūnyataiva rūpaṃ	ルーパム シューニヤター シューニヤタイヴァ ルーパム			रूपं शून्यता शून्यताइव रूपं
19	rūpāṇna pṛthak śūnyatā	ルーパーンナー プリターク シューニヤター	色不 異 空	非色 異 空	रूपान् पृथक् शून्यता
20	śūnyatāyā na pṛthag rūpaṃ	シューニヤターヤー ナ プリタク ルーパム	空 不 異色	非空 異色	शून्यताया न पृथक् रूपं
21	yad rūpaṃ sā śūnyatā	ヤドウ ルーパム サー シューニヤター	色即 是 空	色即 是 空	यद् रूपं सा शून्यता
22	yā śūnyatā tad rūpaṃ	ヤー シューニヤター タッド ルーパム	空即 是色	空即 是色	या शून्यता तद् रूपं
23	evam eva	エーヴァム エーヴァ			एव एव
24	vedanā saṃjñā	ヴェーダナー サムジュニヤー	受 想	受 想	वेदाना संज्ञा

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
	saṃskāra vijñānāni	サムスカーラ ヴィジュニャーナニ	行 識 亦復如是	行 識 亦如是	संस्कार विज्ञानानि
25	iha Śāriputra	イハ シャーリプトラ	舍利子	舍利弗	उक्त शारिपुत्र
26	sarva-dharmāḥ śūnyatā-lakṣaṇā	サルヴァ ダルマーハ シューニャター ラクシャナー	是諸法 空相	是諸法 空相	सर्वधर्म शून्यलक्षणौ
27	anutpannā aniruddhā	アストウパンナー アニルッダー	不生 不滅	不生 不滅	अव्यय अनिर्दह
28	amalā na vimalā	アマラー ナ ヴィマラー	不垢 不淨	不垢 不淨	अमल न विमल
29	nonā na paripūrṇaḥ	ノーナー ナ パリプールナーハ	不增 不減	不增 不減	न न परिपूर्णः
30				是空法 非過去非未來非現在	
31	tasmac	タスマーチ	是故	是故	तस्मात्
32	Chāriputra	チャーリプトラ			शारिपुत्र
33	śūnyatāyām	シューニャターヤム	空中	空中	शून्यतायाम्
34	na rūpaṃ	ナ ルーパム	無色	無色	न रूपम्
35	na vedanā na saṃjñā na saṃskārā na vijñānāni	ナ ヴェーダナー ナ サムジュニャー ナ サムスカーラー ナ ヴィジュニャーナニ	無受想行識	無受想行識	न वेदान न संज्ञा न संस्कार न विज्ञानानि
36	na cakṣuḥ śrotra ghrāṇa jihvā	ナ チャクシュフ シュロートウラ グフラーナ ジフヴァー	無 眼 耳 鼻 舌	無 眼 耳 鼻 舌	न चक्षु श्रोत्र घ्राण जिह्व

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
	kāya manāṃsi	カーヤ マナーンシ	身 意	身 意	𑖅𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤
37	na rūpa śabda gandha rasa spraṣṭavya dharmāḥ	ナ ルーパ シャブダ ガンダハ ラサ スプラシュタヴァヤ ダルマーハ	無 色 声 香 味 触 法	無 色 声 香 味 触 法	𑖥 𑖪𑖤 𑖠𑖤 𑖠𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤
38	na cakṣur dhātur yāvan na mano vijñāna dhātuḥ	ナ チャクシュル ダートウル ヤーヴァン ナ マノー ヴィジュニヤーナ ダートウフ	無 眼 界 乃至無 意 識 界	無 眼 界 乃至無 意 識 界	𑖥 𑖠𑖤𑖤 𑖅𑖤𑖤 𑖅𑖤𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤 𑖅𑖤𑖤𑖤
39	na vidyā	ナ ヴィディヤー			𑖥 𑖠𑖤𑖤𑖤
40	nāvidyā na vidyā	ナーヴィディヤー ナ ヴィディヤー	無 無明	無 無明	𑖥𑖠𑖤𑖤𑖤 𑖥𑖠𑖤𑖤𑖤
41	kṣayo nāvidyā-kṣayo	クシャヨー ナーヴィディヤークシャヨー	亦 無無明尽	亦 無無明尽	𑖅𑖤𑖤 𑖥𑖠𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤𑖤
42	yāvan na jarā maraṇaṃ	ヤーヴァン ナ ジャラー マラナム	乃至無 老 死亦	乃至無 老 死	𑖠𑖤𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤
43	na jarā maraṇa	ナ ジャラー マラナ	無 老 死	無 老 死	𑖥 𑖠𑖤𑖤 𑖠𑖤𑖤𑖤

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
	kṣayo	クシャヨー	尽	尽	क्षय
44	na duḥkha samudaya nirodha mārgā	ナ ドゥフカ サムダヤ ニローダ マールガー	無 苦 集 滅 道	無 苦 集 滅 道	न दुःख समुत्पद्य निरोध मार्ग
45	na jñānaṃ na prāptir	ナ ジュニャーナム ナ プラープティル	無 智亦 無 得	無 智亦 無 得	न ज्ञानं न प्राप्तिर
46	aprāpti tvena	アプラープティ トヴェーナ	以無 所得故	以無 所得故	अप्राप्ति त्वेन
47	Bodhisattvasya	ボーディサットヴァーナム	菩提薩垂	菩薩	बोधिसत्त्वस्य
48	prajñā-pāramitām āśritya	プラジュニャーパーラミターム アーシュリトウヤ	依 般若波羅密多 故	依 般若波羅密 故	प्रज्ञापारमितां श्रित्य
49	viharaty	ヴィハラティ			विहरत्य
50	acittāvaraṇaḥ	アチッタアーヴァラナハ	心無罣礙	心無罣礙	अचित्तवारणः
51	cittāvaraṇa	チッタアーヴァラナ	無罣礙故	無罣礙故	चित्तवारण
52	nāstitvād atrasto	ナーステイトウヴァードウ アトウラストー	無有 恐怖	無有 恐怖	नस्तिवद् स्तस्त
53	viparyāsā-ti-krānto	ヴィパリャヤーサアティクラントー	遠離一切顛倒夢想	離一切顛倒夢想苦惱	विपर्ययासतिक्रान्त
54	niṣṭha nirvāṇaḥ	ニシュタハ ニルバーナハ	究竟 涅槃	究竟 涅槃	निष्ठ निर्वाणः
55	tryadhva vyavasthitāḥ sarva	トウルヤドゥフヴァ ヴャヴァスティターハ サルヴァ	三世 諸	三世 諸	त्रय व्यवस्थिताः सर्व

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
	buddhāḥ	ブツダーハ	仏	仏	बुद्धः
56	prajñā-pāramitām	プラジュニャーパーラミターム	依 般若波羅密多 故	依 般若波羅密 故	प्रज्ञापारमिता
57	aśrityānuttarāṃ samyaksambodhim	アーシュリトウヤーヌッタラーム サムヤクサムボーディヒム	得 阿耨多羅 三藐三菩提	得 阿耨多羅 三藐三菩提	अश्रित्यनुत्तरं सम्यक्संबोधिम
58	abhisambuddhāḥ	アビサムブツダーハ			अभिसंबुद्धः
59	tasmāj jñātavyo	タスマージュ ジュニャータヴヤム	故 知	故 知	तस्माच्च ज्ञेयम्
60	prajñā-pāramitā	プラジュニャーパーラミター	般若波羅密多	般若波羅密	प्रज्ञापारमिता
61	mahā mantra	マハー マントウロー	是大 神咒		महा मन्त्र
62	mahā vidyā mantra	マハー ヴィディヤー マントウロー	是大 明 咒	是大 明 咒	महा विद्या मन्त्र
63	nuttara mantra	アヌッタラ マントウロー	は無上 咒	無上明 咒	अनुत्तर मन्त्र
64	samasama mantraḥ	サマサマ マントウラハ	は無等等 咒	無等等明 咒	समसम मन्त्रः
65	sarva duḥkha praśamaṇaḥ	サルヴァ ドウフカ プラシャマナハ	能除一切苦	能除一切苦	सर्वदुःखप्रशमनः
66	satyam amithyatvāt	サツティヤム アミツティヤツトウヴァートウ	真実 不虛	真実 不虛	सत्यम् अमिथ्यात्
67	prajñā-pāramitāyām ukto mantraḥ	プラジュニャーパーラミターヤーム ウクトー マントウラハ	故說 般若波羅密多 咒	故說 般若波羅密 咒	प्रज्ञापारमितायाम् उक्तमन्त्रः
68	tad yathā	タッドウヤター	即說咒曰	即說咒曰	तद्वत्

#	サンスクリット	カタカナ	玄奘	鳩摩羅什	梵字
69	gate	ガアーテエー	羯帝	竭帝	𑖀𑖅
70	gate	ガアーテエー	羯帝	竭帝	𑖀𑖅
71	pāra gate	パアーラアーガアーテエー	波羅羯帝	波羅竭帝	𑖀𑖅𑖀𑖅
72	pārasaṃ gate	パアラアサアムウガアーテエー	波羅僧羯帝	波羅僧竭帝	𑖀𑖅𑖀𑖅𑖀𑖅
73	bodhi svāhā	ボーデースヴァーハー	菩提娑婆呵	菩提娑婆呵	𑖃𑖅𑖀𑖅𑖀𑖅𑖀𑖅
74	iti	イティ			𑖅𑖅𑖀
75	prajñā pāramitā hṛdayaṃ	プラジュニャー パーラミター フリダヤム	般若 心 経	摩訶 般若 波羅密 大明咒経	𑖀𑖅𑖅𑖅 𑖀𑖅𑖅𑖅𑖅 𑖅𑖅𑖅𑖅
76	samāptaṃ	サマープタム			𑖀𑖅𑖅𑖅
77					𑖀𑖅

69	gate	ゲート	ga ti	吾は生命を与える
70	gate	ゲート	ga ti	吾は生命を与える
71	pāragate	パラ(レル) ゲート	bara ga ti	吾は生命を与えまい
72	pārasaṃgate	パラ(レル) サマ(リー) ゲート	bara si ga ti	えまいから、吾は生命を与える

- ※ 「ティ」はシュメール語で「生命を与える」意味。「肋骨」の訳が世界中に拡がっている。役割で言葉が異なることに由来する。
- ※ 「吾」は五つ目の口、多重構造。「ga」は願望・意志。「bara」は否定の推量。「si」は奪格。
- ※ 「意識」「意志」の有する持続の力が生命。五蘊・行識の持続により五蘊・色が持続されている。
- ※ 「真言」は声帯の振動。内言は体液の振動、血管・リンパ・神経の3種。振動を起こし、電子と原子核のスピン状態を整える。身霊が活性化する。
- ※ 「光」は欠けていく振動。「闇」は満ちていく振動。口、咒、靈、器、吾。意は、音の心。音は、立つ日で、神の応え。

パラサム
ゲーテ

パーラー
ゲーテ

ボディ
スヴァー

ゲーテ

ゲーテ